

もっと日本を。もっと世界へ。

 | 國學院大學

2019

國學院大學

オープンカレッジ

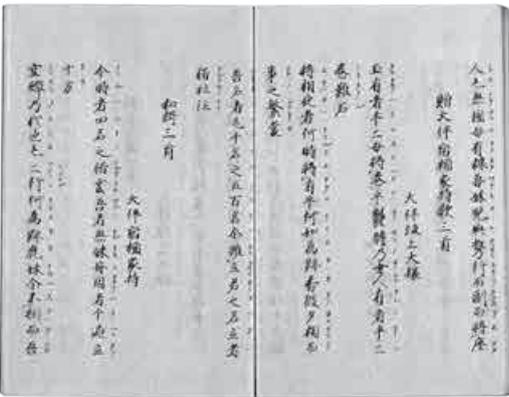
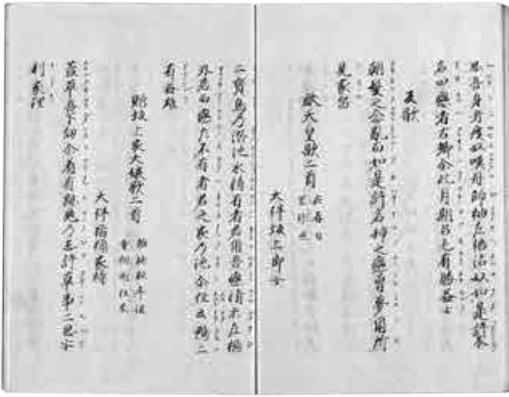
おほどものすくねやかもちろ  
大伴宿禰家持が坂上家の大嬢に贈る歌

二首 離絶数年、また会ひて相聞往来す

忘れ草 我が下紐に 付けたれど 醜の醜草  
言にしありけり

人もなき 国もあらぬか 我妹子と 携ひ行  
きて たぐひて居らむ

萬葉集 卷四 七二七 七二八



「萬葉集 卷四」

江戸時代前期写本 八雲軒本(國學院大學図書館所蔵)

大伴宿禰家持贈坂上家大嬢一歌二首 離絶数年、復会相聞往来

萱草 吾下紐に 著有跡

鬼乃志許草 事二思安利家理

おほどものすくねやかもちろ  
大伴宿禰家持が坂上家の大嬢に贈った歌二首  
数年間かけ離れていたが また逢って消息を交した

忘れ草を 下着の紐に 着けてはみたが  
阿呆のあほくさ 名ばかりでした

人もなき 国母有粳 吾妹子と

携行而副而将座

誰もいない 世界がないものか あなたと二人で  
連れ立って行って 寄り添っていたい

# 國學院大學 オープンカレッジへようこそ

國學院大學オープンカレッジは、本学の伝統と実績に基づく学問を、年齢・性別・学歴等を問わず、すべての方々に開放し、人生をより豊かな、充実したものにするための一助となることを願い、平成4年に7講座で産声をあげました。

その後多くの皆様に支えられ、昨年は55講座延べ約2,000名の方々にご受講頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

28年目となる今年度も本学の得意分野である神道、文学、歴史、書道等の講座を中心とした47講座をご用意いたしました。渋谷キャンパスでは「源氏物語講座－もう一つの『源氏物語』を読む－」、「江戸の刑罰(1)－百敲と入墨－」、「江戸の刑罰(2)－鬼平と人足寄場－」の講座を新たな講師を迎え開講いたします。また好評の「神道」、「古事記」、「万葉集」講座も継続いたしますので、ご期待ください。

今後も「國學院大學らしい講座」を追求し、ご受講の皆様の声を大切にしながら、オープンカレッジの更なる充実に努めて参ります。

受講者の皆様にとって本学のオープンカレッジが、豊かな生涯学習の場であると同時に、潤いのある日常生活の糧となりますことを、スタッフ一同心から願っております。

國學院大學エクステンションセンター

## 建学の精神

### 國學院大學設立の背景と経緯

明治維新当時、わが国を欧化万能の風潮が覆い、日本古来の思想・文物が顧みられない状態となった。しかし、そうした世風を憂慮し、維新の達成には国民道徳の確立をもって、国家独立の基礎とする必要があるという気運が起こった。

このような気運を背景として、本学の前身である皇典講究所が明治15(1882)年に現在の千代田区飯田橋に創立された。11月4日に行われたその開校式において、初代総裁の有栖川宮幟仁親王が述べられた告諭の中の「凡學問ノ道ハ本ヲ立ツルヨリ大ナルハ莫シ故ニ國體ヲ講明シテ以テ立國ノ基礎ヲ鞏クシ徳性ヲ涵養シテ以テ人生ノ本分ヲ盡スハ百世易フベカラザル典則ナリ」という主旨が本学建学の精神の基底を成す。明治23(1890)年7月、皇典講究所初代所長山田顯義伯爵の公表した「國學院設立趣意書」によって更に拡大・強調された。

この精神が今日まで継承され、國學院大學が神道精神に立脚した道義の大学として、輝かしい伝統と独自の学風を築き上げている。

## 全講座(47講座)先着順受付

「ハガキ」または「FAX」でお申し込みください。申込締切 3月22日(金)



### 目次

ページ

國學院大學オープンカレッジのご案内 .....4~5

#### ◆渋谷キャンパス開講講座

N0	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
01	神道を知る講座15 日本書紀と神道 -日本書紀1300年を前に-	岡田 莊司	10	通年	6
02	『古事記』の神話を読む	谷口 雅博	10	通年	6
03	万葉集を読む -巻三を読み直す-	土佐 秀里	10	通年	7
04	万葉考古学18	杉山 林継	10	通年	7
05	大人のための万葉集 -『万葉集』巻一の世界-	城崎 陽子	5	後期	7
06	源氏物語講座 -もう一つの『源氏物語』を読む-	豊島 秀範	10	通年	8
07	能と文学14 -古典文学から能へ-	岩崎 雅彦	10	通年	8
08	短歌を読む 詠む -『万葉集』第15~16巻の鑑賞-	豊島 秀範	10	通年	8
09	日本語“どうして”Q&A100 -併せて日本語の未来を考える-	中村 幸弘	10	通年	9
10	文学の風景 -恋愛の不可思議-	岡崎 直也	10	前期	9
11	中国の神話・伝説 -中国古代の人々の心-	松田 稔	10	後期	9
12	『論語』を読む -朱子の注釈・多様な別解-	石本 道明	10	通年	10
13	史料でたどる日本と東アジアの古代史7 -儀礼・宗教からみた古代史-	佐藤 長門他	10	通年	10
14	折口信夫・釋迦空研究17 「大嘗祭の本義」を読む	大石 泰夫他	10	前期	11
15	日向の神話と神楽(宮崎県との連携講座)	大石 泰夫他	10	後期	11
16	民俗伝承学から日本文化を読む(前期)-氏神さまと鎮守さま-	新谷 尚紀	5	前期	12
17	民俗伝承学から日本文化を読む(後期)-氏神さまと鎮守さま-	新谷 尚紀	5	後期	12
18	中世後期の社会と儀礼	矢部健太郎	10	通年	12
19	歴史の捉え方 -人間こそが主人公-	松平 定知	10	通年	13
20	『平家物語』 屋島合戦譚・壇の浦合戦譚を読む	野中 哲照	10	通年	13
21	遊べる日本美術5 -遊べる浮世絵 江戸・明治の子どもと遊び-	藤澤 紫	10	通年	14
22	華道に学ぶ ~道具を学ぶ~	鳥居 茜月	10	通年	14
23	世界の中の日本 -新冷戦とアジア情勢-	久保田るり子	10	通年	14
24	江戸の刑罰(1) -百敲と入墨-	高塩 博	5	前期	15
25	江戸の刑罰(2) -鬼平と人足寄場-	高塩 博	5	後期	15

26	かなの鑑賞と実作(一) - 升色紙の散らしの妙を学ぶ -	名児耶 明	10	前期	… 15
27	かなの鑑賞と実作(二) - もっとも細いかなの線を学ぶ -	名児耶 明	10	後期	… 16
28	漢字(一)楷書〈初級・中級〉 - 点画の基礎と3つの大切なポイントを学ぶ -	小嶋 憲次	10	前期	… 16
29	漢字(二)行書〈初級・中級〉 - 行書の基礎と名筆の臨書を学ぶ -	小嶋 憲次	10	後期	… 16
30	漢字(三)篆書〈初級・中級〉 - 「泰山刻石」と鄧完白の「白氏草堂記」を習う -	筒井 茂徳	10	前期	… 17
31	漢字(四)隷書〈初級・中級〉 - 「史晨碑」と呉讓之「文語横披」を習う -	筒井 茂徳	10	後期	… 17
32	漢字(五)行書〈初級・中級〉 - 王羲之「集字聖教序」を習う -	野村ひかり	10	前期	… 17
33	漢字(六)行書・草書〈初級・中級〉 - 王羲之の尺牘を習う -	野村ひかり	10	後期	… 18
34	日本の漢字(一)行書・草書〈初級・中級〉 - 橘逸勢「伊都内親王願文」を習う -	石井 清和	10	前期	… 18
35	日本の漢字(二)行書・草書〈初級・中級〉 - 橘逸勢「伊都内親王願文」を習う -	石井 清和	10	後期	… 18
36	仮名(一)〈初級・中級〉 - 美しい仮名を書きたい人のために -	杉浦 妙子	10	前期	… 19
37	仮名(二)〈初級・中級〉 - 美しい仮名を書きたい人のために -	杉浦 妙子	10	後期	… 19
38	仮名(三)〈初級〉 - 仮名書道に親しむ -	橋本 貴朗	10	前期	… 19
39	仮名(四)〈中級〉 - 継色紙 -	橋本 貴朗	10	後期	… 20
40	隷書(一)〈初級・中級〉 - 隷書に親しむ -	横倉 佳男	10	前期	… 20
41	篆刻(一)〈初級・中級〉 - 篆書・篆刻に親しむ -	横倉 佳男	10	後期	… 20

### ◆たまプラーザキャンパス開講講座

NO	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
42	『古事記』下巻を読む - 仁徳・履中・反正 -	渡邊 卓	10	通年	… 21
43	源氏物語講読 - 「関屋」「絵合」「松風」の3帖を読む -	林田 孝和	10	通年	… 21
44	松尾芭蕉の紀行文を読む - 『鹿島詣』・『笈の小文』 -	中村 正明	10	通年	… 21
45	『枕草子』と『大鏡』などと併せ読む - 中関白家の人々を追う - (上)	中村 幸弘	10	通年	… 22
46	健康の心理学	伊藤 英之	5	前期	… 22

### ◆オープンカレッジ特別講座 渋谷キャンパス

NO	講 座 名	講 師	回数	時期	ページ
47	共催 一般財団法人冠婚葬祭文化振興財団・互助会保証株式会社 特別講座「豊かに生きる - 納得できる死を迎えるために -」	石井 研士他	5	通年	… 23

- エクステンションセンターが主催する公開講座のご紹介 …… 24
- 国学院大学博物館のご紹介 …… 25
- 国学院大学萬葉の花の会のご紹介 …… 25
- オープンカレッジ申込方法 …… 26~27
- 「受講申込書」記入例 …… 28
- 「受講申込書」(FAX用)
- 「受講申込書」(ハガキ)

## 國學院大學オープンカレッジのご案内

### 入会登録

- オープンカレッジは会員制です。年齢・学歴等に関係なくどなたでも入会できます。  
※但し、次の特別講座のみをご受講の方は入会の必要はありません。  
「豊かに生きる - 納得できる死を迎えるために -」
- 入会金・更新料は受講料と共にお振り込みください。2019年度にご希望の講座がない場合、入会・更新のみの受付けもいたします。(9月末迄)

### 会員証

- 会員証は4年間有効です(会員を継続するには更新の手続きが必要です)。
- 会員証は、他人に貸したり譲ったりすることはできません。
- 会員証は携帯してください。会員特典利用の際はご提示いただくことがあります。

### 会員特典

- 期間中はオープンカレッジのパンフレットを無料でお送りいたします。
- 図書館の閲覧利用ができます(当該年度受講される場合のみ利用可能、貸出はできません)。  
写真を貼付した会員証と受講許可証を持参の上、図書館で所定の手続きを行ってください。
- エクステンション事業課主催各種講座の案内を無料でお送りいたします。一部受講料割引講座もあります。
- 生協で書籍・文具等が割引で購入できます。

### 受講料

- 受講料は各講座内容のページをご確認ください(全日程受講しない場合も同じ金額です)。
- 受講料・入会金等は、一括振込のみとし、分納はできません。
- テキスト代は受講料に含まれません。
- 2019年度國學院大學の学部、大学院、または他大学等に在学の方、若木育成会会員の方は受講料が半額となります。科目等履修生は該当しません。(P 27をご参照ください)
- 地域連携協力に関する基本協定に基づき、渋谷区・横浜市青葉区在住の方は、受講料が半額となります。  
(P 27をご参照ください)

### 講座

- 講座は全て1年または半年の完結型です。継続講座も毎年独立した講座内容になっています。
- 受講者数が10人に満たない場合は講座を中止することがあります。その際お振り込みいただいた受講料は、本人名義の口座に返金させていただきます。
- 大学および講師の都合等により開講を中止することがあります。
- テキスト等書籍の価格に変更がある場合はご了承ください。テキストは生協書籍売場にて割引販売を行っております。(初回時教室での販売は行いません)  
渋谷キャンパス: 3号館地下1階(03-5466-0166) たまプラーザキャンパス1号館地下1階(045-911-7626)

### 休講

- 講師の急病、事故等、悪天候や災害、交通ストライキ等で休講する場合には、原則として補講を行います。
- 補講の日時・教員は、通常の講座とは異なる場合がありますので予めご了承ください。
- エクステンションセンターからご登録いただいた電話番号にご連絡することがあります。

## 単位・修了

- 特別講座「豊かに生きる ― 納得できる死を迎えるために―」を除く各講座にはオープンカレッジ独自の単位を設けております。単位数については各講座内容のページをご参照ください。
- 原則として、担当講師が毎回出欠をとり、3分の2以上の出席(5回講座の場合3回、10回講座の場合7回)が単位取得の要件となります。エクステンションセンターへの講座欠席連絡は必要ありません。
- 取得した単位は累積され、32単位になった時点でオープンカレッジ修了となり、「國學院大學オープンカレッジ修了証」を授与いたします。なお、修了後も継続してご受講いただけます。

## 受講のキャンセル

- 受講申込後、やむを得ず受講を取り消す場合は、速やかにエクステンションセンターまでご連絡ください。
- 受講料等納付後、ご本人のご都合で受講をキャンセルする場合、納入された受講料等はお返しできませんので、予めご了承ください。
- 申込締切日以降でも、人数に余裕がある講座は、開講初日の10日前まで申し込み受けをいたします。詳細はエクステンションセンターまでお問合せください。

## 注意事項

- 「受講申込書」にご記入いただいた住所等に変更があった場合は、速やかにご連絡ください。
- 大学構内は全面禁煙のため、指定場所以外での喫煙はできません。
- 駐車場がありませんので、自動車、バイク、自転車でのご来校はできません。
- 身の回りの品にご注意ください。特に貴重品は席を離れる際には必ず身に付けてください。
- 講師や他の受講者、または本学に対し迷惑となる行為があった場合は、受講をお断りすることがあります(教室からの退出やオープンカレッジ退会をお願いすることがあります)。

### ●紹介制度について

オープンカレッジ現会員の方が新規の受講者をご紹介いただき、紹介を受けた方が受講された場合は紹介して下さった会員の方に本学の図書カード(500円分)を差し上げます。

この機会にどうぞお知り合い、ご友人をご紹介ください。

### オープンカレッジにかかわるお問合せ先

國學院大學エクステンションセンター

(受付時間 月～土曜日9時～17時 除く祝日・大学行事日)

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28 電話 03-5466-0270 FAX 03-5466-0528

URL <http://www.kokugakuin.ac.jp> e-mail [jigyoku@kokugakuin.ac.jp](mailto:jigyoku@kokugakuin.ac.jp)

### 個人情報の取り扱いについて

國學院大學では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取扱いに努めています。オープンカレッジ受講申し込みにあたって、お知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報は、國學院大學エクステンションセンター(エクステンション事業課)におきまして、①受講手続、②オープンカレッジ受講に関する管理、連絡および手続、③オープンカレッジ開催施設・設備利用に関する管理、連絡および手続、④受講者本人に送付する各種書類の発送およびその他の連絡、⑤当センターが行っている各種講座案内と、これに付随する事項を行うために利用します。

上記は、その一部の業務を國學院大學エクステンションセンターより当該業務の委託を受けた業者(以下、「受託業者」といいます)において行います。業務委託にあたり、委託業者に対して、受託した業務を遂行するために必要となる限度で、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することがあります。

國學院大學エクステンションセンター(エクステンション事業課)は、個人情報は原則として第三者に開示いたしません。ただし、法律上開示をすべき業務を負う場合や、受講者本人または第三者の生命/身体/財産その他の権利利益などを保護するために必要であると判断できる場合、その他緊急の必要があり個別の承諾を得ることができない場合には、例外的に本人または第三者の個人情報を開示することがあります。予めご了承ください。

01

神道を知る講座15 日本書紀と神道

—日本書紀1300年を前に—

水曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學  
大学院客員教授・  
國學院大學研究開発  
推進機構客員教授・  
博士(歴史学)

おかだ しょうじ  
**岡田 庄司**

専門 宮中祭祀儀礼・  
分野 古代中世神道史

講座内容

今年是新元号(2019)元年、気持ちも新たに「神道を知る講座」は第15年目を迎えます。来年は東京オリンピック・パラリンピックの年、そして、もう一つ、日本書紀1300年にもあたります。100年前、大正九年には、國學院大學において、盛大な日本書紀諸本の展覧会が開かれました。

神道・神社の歴史と日本書紀とは、深い関係を保ってきました。神道と神社が古代から現代まで脈々と受け継がれてきた理由は、日本書紀・古事記など、古典籍が書写・継承されてきたからです。

本年度は日本書紀1300年を前に、日本書紀の成立と展開を軸に、古代・中世における学問的研究と信仰世界との関係などについて論究していきます。日本書紀の歴史をとおして、神道とは何かを明らかにしていきたいと思ひます。

昨年度まで14回継続してきた講座を基礎に、さらに発展させていく内容を企画しておりますが、はじめての受講者にも対応できるように準備しておりますので、初心者の方も、どうぞご遠慮なくご参加ください。

第1回	日本書紀1300年を回顧する
第2回	日本書紀成立前後・舎人親王ほか
第3回	日本書紀と津田左右吉
第4回	日本書紀講書
第5回	日本書紀の構成と諸本
第6回	日本書紀から読む神道の言葉
第7回	日本書紀・國學院鴨脚(いちょう)本について
第8回	日本書紀と大嘗祭
第9回	日本書紀と釈日本紀
第10回	日本書紀とト部神道

4月	17日
5月	22日
6月	5日、19日
7月	3日、10日
10月	2日、16日
12月	4日、18日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円

締切日前に定員に達することがございます

テキスト 資料を配付します

02

『古事記』の神話を読む

土曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學  
教授・博士(文学)  
たにぐち まさひろ  
**谷口 雅博**

専門 日本上代文学  
分野 (古事記・日本書紀・  
万葉集・風土記)

講座内容

712年に成立した『古事記』の神話を読みます。『古事記』の神話は、天地のはじまりから初代天皇である神武天皇の誕生までを描いたものですが、今年度はその中でも重要な位置を占める天孫降臨神話を読んでいきます。高天原の至高神である天照大御神は、地上世界=葦原中国を代表する大国主神と交渉し、葦原中国を譲らせることに成功しました。そこで、葦原中国を統治させるために孫のホノニギノミコトを降臨させますが、その際の様子を描いたのが天孫降臨神話です。はじめ、天照大御神は子供のおシホミミを降臨させる予定でしたが、途中で孫に交替させました。また、国譲りの交渉は出雲で行われていたのですが、降臨したのは九州日向の地でした。その他多くの疑問点・問題点を含み持つ天孫降臨神話を、『日本書紀』との比較を通して読み解いていきたいと思ひます。

4月	27日
5月	18日
6月	1日、15日、29日
7月	13日
9月	28日
10月	12日、26日
11月	9日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円

テキスト 『新版 古事記(現代語訳付き)』 中村啓信訳注 角川ソフィア文庫 1,160円(本体価格)

03

万葉集を読む ー巻三を読み直すー

木曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學  
教授  
とさ ひでさと  
**土佐 秀里**

専門分野 上代文学

講座内容

今年は万葉集の巻三を読んでいきます。巻三は、人麻呂の小品と、黒人・赤人の旅の歌、大伴旅人の酒を讃める歌などが収録されています。巻一・二に比べるといささか地味な印象もありますが、同時に雑多で、ところどころ奇妙な歌が混じっています。一年間お付き合いいただければ幸いです。

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 第1回 天皇と皇子への献歌(235~248) | 第6回 旅人と憶良(326~356)      |
| 第2回 人麻呂の旅の歌(249~269)   | 第7回 赤人と金村(357~377)      |
| 第3回 高市黒人の旅の歌(270~291)  | 第8回 神を祭る歌(378~389)      |
| 第4回 旅と伝説(292~316)      | 第9回 譬喩歌(390~414)        |
| 第5回 富士山の歌(317~325)     | 第10回 聖徳太子と大津皇子(415~425) |

各回で扱う範囲は一応の目安です。進み具合によって変更する場合があります。

4月	18日
5月	9日、23日
6月	20日
7月	4日
10月	3日、17日
11月	14日、28日
12月	12日

- 単位数 2単位
- 受講料 20,000円



テキスト 「補訂版 万葉集本文篇」 佐竹昭広・木下正俊・小島憲之著 塙書房 2,100円(本体価格)

04

万葉考古学18

水曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學  
名誉教授・博士(歴史学)  
すぎやま しげつぐ  
**杉山 林継**

専門分野 考古学・神道学・  
祭祀考古学

講座内容

万葉集4500首の歌には飛鳥奈良時代を中心とした、天皇から防人・農民に至るまでの人々の心が歌われている。そこには手に触れたもの、目にした情景がある。古代の人々の心を動かしたこれらの景色・環境や文物は、記紀等の数少ない文献との対比ばかりではなく、近年の木簡資料を始め考古学の成果を利用して復原しなければならない。逆に考古学にとっても遺跡遺物を解釈するとき、この4500首は宝庫である。遺跡遺物を有機的に見る目をこれらの歌から学ぶことが必要と言えよう。この万葉集の時代は大陸から新しい文化を大規模に取り入れた時代でもあり、それ以前の固有文化とのせめぎあいの時とも言える。

平成13年度に巻1巻頭の雄略天皇の歌からはじめて、平成23年度第10回4516家持の因幡国府での歌まで100回100テーマで話してきた。24年度以降、前記100回のうちからと、新しいものも入れて話している。今年度は脊、下駄、便所、玉帯、三輪山、石上、須恵の珠名、輿・墓標などを話したい。

歌の心を知るためにも考古学からのアプローチをお勧めする。

4月	24日
5月	15日、29日
6月	19日、26日
7月	10日
10月	9日、23日
11月	20日
12月	4日

- 単位数 2単位
- 受講料 20,000円



テキスト 資料を配付します

05

大人のための万葉集 ー『万葉集』巻一の世界ー

木曜日

18:30~20:00

講師



獨協大学  
特任教授・博士(文学)  
しるさき ようこ  
**城崎 陽子**

専門分野 古代文学・  
近世思想史

講座内容

現存最古の歌集とされる『万葉集』には背景となる歴史や、民俗だけでなく、「万葉びと」と呼ぶ当時の人々の情感があふれています。本講座では、歴史や民俗、文化などの幅広い資料を参考としながら、「万葉びとの世界」を読み解くことを目的とします。今回は全20巻のうちの巻1を扱います。これを機会に1300年前の人々を作品を通して実感してみませんか。

- |                       |
|-----------------------|
| 第1回 人と文学 一大王の歌・その1ー   |
| 第2回 人と文学 一大王の歌・その2ー   |
| 第3回 歴史と文学 一天皇遠征の歌ー    |
| 第4回 歴史と文学 一近江朝の歌・その1ー |
| 第5回 歴史と文学 一近江朝の歌・その2ー |

10月	10日、24日
11月	7日、21日
12月	5日

- 単位数 1単位
- 受講料 10,000円



テキスト 資料を配付します

06

源氏物語講座 —もう一つの『源氏物語』を読む—

金曜日  
12:50~14:20

講師



新

國學院大學  
名誉教授・博士(文学)  
とよしま ひでのり  
**豊島 秀範**

専門分野 平安朝文学・  
中世王朝文学

講座内容

今年度から「源氏物語講座」を担当する豊島秀範です。どうぞ宜しくお願い致します。  
[桐壺]巻から読み進めますが、この講座の目的と特色は、以下の3点です。  
①[『源氏物語』全巻の読破をめざす]。『源氏物語』は54巻に及ぶ長編ですが、全体を読むことで初めて『源氏物語』が理解できます。そのため、さまざまな画像資料を参考にしつつ、スピードをもって読み進めていきます。すでに読んでいる方々も、これを機会に首巻の[桐壺]巻から、改めて読み進め、最後まで読み切ってみましょう。  
②[もう一つの『源氏物語』を読む]。『源氏物語』の殆どのテキストは[青表紙本]に拠っていますが、『源氏物語』には[河内本]という大切な本文もあります。そこで、[河内本]の本文と比較することで、書写することで継承されてきた実態を考えながら進めます。変体仮名などの書道に関心のある方は、ぜひ参加して下さい。  
③[『源氏物語』の現代語訳と比べよう]。『源氏物語』には多くの現代語訳があります。ここでは[谷崎潤一郎]の新訳を取り上げて、比較しながら読み進めます。  
以上の講座内容に関心のある方は、積極的に参加して、新たな発見をして下さい。

4月	19日
5月	10日、24日
6月	7日、21日
7月	5日
10月	4日、18日
11月	15日、29日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円

テキスト

テキストはコピーで対応します。なお、各自が所持している「源氏物語」を用意してください。

参考書

特定せず。各自お手持ちの参考書をご持参ください。

07

能と文学14 —古典文学から能へ—

木曜日  
14:30~16:00

講師



國學院大學  
兼任講師・博士(文学)  
いわさき まさひこ  
**岩崎 雅彦**

専門分野 能・狂言

講座内容

室町時代に大成された我が国最古の演劇である能は、『源氏物語』『平家物語』など、多くの古典文学を素材として作られている。本講座では、昨年度に引き続き、能の作品と、その素材となった文学作品を合わせて読んで行く。両者を読み比べることにより、能の作者たちが原典をどう解釈し、演劇としてどう脚色しているかを考えてみたい。各回の内容は以下の通り。

- |            |            |
|------------|------------|
| 第1回 能「阿漕」  | 第6回 能「松虫」  |
| 第2回 能「松山鏡」 | 第7回 能「西王母」 |
| 第3回 能「巴」   | 第8回 能「遊行柳」 |
| 第4回 『平家物語』 | 第9回 『源氏物語』 |
| 第5回 能「蟻通」  | 第10回 能「柏崎」 |

なお、希望者を対象に、能・狂言の鑑賞を予定している。

4月	25日
5月	9日、23日
6月	6日、20日
9月	26日
10月	10日、24日
11月	7日、21日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円

テキスト

資料を配付します

08

短歌を読む 詠む —『万葉集』第15~16巻の鑑賞—

木曜日  
14:30~16:00

講師



國學院大學  
名誉教授・博士(文学)  
とよしま ひでのり  
**豊島 秀範**

専門分野 平安朝文学・  
中世王朝文学

講座内容

①[短歌を読む]では、今年度は『万葉集』第15~16巻を取り上げます。  
釈迺空(折口信夫)の六冊の歌集を6年間を要して読み終えた後、『万葉集』に挑戦して8年目を迎えます。1200年以上もの時を隔てた最古の和歌の作歌意図はどこにあるのか、それらの表現が現在の我々の心にどのように響くのか、などについて率直に話し合うことで、[短歌を詠む]へとつながっていきたいと思います。  
②[短歌を詠む]においては、今年度も、毎回3首の短歌を提出し、各自が良いと思う歌を選び、鑑賞し合うことで、歌を作る力を養うことを目指します。そして、年度末には、過去13年間と同じく、1人30首ずつ詠んだ作品を、1冊の作品集(第14冊目)としてまとめる予定です。  
これまで以上に体験したさまざまな事柄を思い起こし、短歌という形を通して、大切な思い出を表現し、自分自身の作品世界を残していきましょう。作歌経験のある人は、さらなる境地へと挑戦して下さい。短歌を作るのは初めてという方も大歓迎です。

4月	25日
5月	16日、30日
6月	13日、27日
7月	11日
10月	10日、24日
11月	7日、21日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円

テキスト

『万葉集(下)』 桜井満訳注 旺文社(全訳古典撰集)  
オンデマンド版 2,750円(本体価格)

参考書

特定せず。各自お手持ちの参考書をご持参ください。

09

日本語“どうして”Q&A100

—併せて日本語の未来を考える—

金曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學栃木短期大学教授(学長)・  
國學院大學名誉教授・博士(文学)  
なかむら ゆきひろ

中村 幸弘

専門分野 日本語学

講座内容

拙著に、類例を補い、視点を変えた解説を試みるなどして、日々の日本語の理解を深めていきたいと思ひます。以下に各回のテーマを小見出しにして紹介しておきますが、インターネットでご検索いただきますと、詳細がわかるようになっています。ありがたいことに、カスタマーレビュー五つ星になっています。

- 第1回 「蹴り上げる」と「蹴上げる」と「活けづくり」と「活きづくり」と
- 第2回 「むずかしい」と「むつかしい」と「えび茶」の「えび」の漢字表記
- 第3回 「はしたない」などの「ない」と「事」と「こと」との書き分け
- 第4回 「見る」動作と「みる」動作と「言う」動作と「いう」動作と
- 第5回 伯父でも叔父でもない「おじさん」／「昨日は「おととい」か「おとつい」か
- 第6回 「重い」より重い「重たい」／「折から」と「折しも」と
- 第7回 動詞「輝く」と形容詞「輝かしい」と「飽きることない」意の「飽くことない」
- 第8回 「思い出す」の名詞「思い出」と「書き忘れる」「置き忘れる」の「～忘れる」
- 第9回 「仮名」の読み「かな」／「木の葉」の「木」の読み「こ」
- 第10回 「乳呑み児」の「乳」の読み「ち」／「伝え聞く」と「聞き伝える」と

4月	26日
5月	17日、31日
6月	14日、21日
7月	12日
10月	11日、25日
11月	22日
12月	13日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円



テキスト 『日本語“どうして”Q&A100』 中村幸弘著 右文書院 1,500円(本体価格)



参考書 必要に応じて関連資料をコピーして配付します。

10

文学の風景 —恋愛の不可思議—

土曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學  
兼任講師  
おがざき なおや  
岡崎 直也

専門分野 近・現代文学

講座内容

誰にとっても人生の重大事である恋愛は、時に崇高に、時に貪欲に、しばしば狂おしくもなる不可思議さわかりにくいものようです。今年度は、受講の皆さんとご一緒に、近代日本を代表する文豪たちの短編小説を読み味わいながら、その諸相に触れ、深遠な森のなかを踏み迷ってみたいと思ひます。

- 第1回 泉 鏡花「外科室」
- 第2回 夏目漱石「夢十夜」第一夜
- 第3回 芥川龍之介「秋」
- 第4回 葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」
- 第5回 横光利一「春は馬車に乗って」
- 第6回 尾崎一雄「暢気眼鏡」
- 第7回 岡本かの子「老妓抄」
- 第8回 堀 辰雄「曠野」
- 第9回 太宰 治「ヴィヨンの妻」
- 第10回 林芙美子「晚 菊」

4月	27日
5月	11日、18日、25日
6月	8日、15日、22日、29日
7月	6日、13日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円



テキスト 資料を配付します



参考書 講座内で紹介します

11

中国の神話・伝説 —中国古代の人々の心—

木曜日

12:50~14:20

講師



國學院大學  
元教授・博士(文学)  
まつだ みのり  
松田 稔

専門分野 中国古典文学

講座内容

昨年度は、古代の人々の心と大きく関わる神々の伝承や帝王の記述を漢文で読み、人々の願いや祈りの心を知ろうと試みしました。本年は、神話や伝説の中に登場する神的な人物をできるだけ多く読み、それらの神人が古代の人々の心とどのように関わるのかを読みとっていきたくて考えています。

中国の神話的伝承は、歴史書や思想の書などに引用されていて、体系的ではありません。従って断片的であり、歴史事実のように記されているものもありますが、素朴な古代の人々の願いや思いが読みとれます。それらの伝承は、現代の私どもにも共感でき、心とませてくれるものであります。日々の忙しい生活から少し離れて古代の人々の心に触れ、現代生活を見直してみたいと思ひます。

10月	3日、10日、17日、24日
11月	7日、14日、21日、28日
12月	5日、12日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円



テキスト 資料を配付します

# 12

## 『論語』を読む ー朱子の注釈・多様な別解ー

火曜日  
10:30~12:00

講師



國學院大學  
教授  
いしもと みちあき  
**石本 道明**

専門分野 中国古典文学

### 講座内容

「我において浮雲のごとし」、これは孔子が、非常識な手段で手に入れた地位や財産を持つ者に向けて言い放った言葉です。世の価値観・常識が揺れ動き、過去に耳を傾けない時代は、現代ばかりではありません。孔子の時代がまさにそうした時代でした。常に変わるべきものと変えてはならないものがある、そんな常識を確かめるために、古典は存在するのではないのでしょうか。『論語』は千数百年にわたって、日本人の身近にあって「やはりそれでよかったのだ」と戻るべき所を示してきた古典と言えます。

『論語』を読むという行為は、常に自分に引き付けて考え、行動につなげることを求めます。「学んで時に之を習う」とはその事です。ただし、精確な語義の追究や主旨への洞察などの基礎がなければ、自分勝手になりかねません。そこで本講座では、『論語』の標準的解釈として朱子の『論語集注』に拠り、加えて多様な別解も紹介しながら、受講者の皆さんと考えを重ねて行きたいと思えます。

『論語』は各章句が独立し、どこから読み始めてもよい構成になっています。新たに読み始める方も気づかいはありません。今期は、先進篇の冒頭から読み始めます。

4月	16日
5月	21日
6月	4日、18日
7月	2日
10月	1日、15日、29日
11月	12日、26日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円

テキスト 『孔子全集』巻6・論語6 吹野安・石本道明共著 明德出版社 2,500円(本体価格)

参考書 『論語』朱熹の本文訳と別解 石本道明・青木洋司著 明德出版社 1,900円(本体価格)

# 13

## 史料でたどる日本と東アジアの古代史7 ー儀礼・宗教からみた古代史ー

水曜日  
10:30~12:00

コーディネーター



國學院大學  
教授・博士(歴史学)  
さと うなご  
**佐藤 長門**

専門分野 日本古代史・古代王権・  
国家の権力構造論

### 講座内容

國學院大學は、創設当初から日本の古典研究を通して人材育成をめざしてきた教育・研究機関であり、史学科も史料にもとづいた実証的な歴史研究を標榜してきました。本講座もその伝統に違わず、史資料に即して古代の日本と東アジアの古代史を考えてきました。過去には権力の正当性、中央と辺境、政治と外交、王権と氏族、象徴としての権力などについて検討してきましたが、本年度はその7回目として、古代史上において儀礼や宗教が果たしてきた役割について考えてみたいと思います。日本古代史のみならず、北東アジア古代史の最新の研究成果にもふれられる絶好の機会ですので、ぜひ大勢の方々の受講を期待しています。

第1回	殯宮儀礼と王権継承	國學院大學教授	佐藤 長門
第2回	日本密教の黎明 ー最澄と空海ー	國學院大學教授	佐藤 長門
第3回	平安期における讓位儀の史的展開	國學院大學教授	佐藤 長門
第4回	古代東アジアの国書(1)	國學院大學教授	金子 修一
第5回	古代東アジアの国書(2)	國學院大學教授	金子 修一
第6回	古墳と首長権継承儀礼	國學院大學准教授	青木 敬
第7回	文書行政を支えた古代の文房具	國學院大學准教授	青木 敬
第8回	赤山法華院の八月節	國學院大學准教授	山崎 雅稔
第9回	東アジア世界の半跏思惟像	國學院大學准教授	山崎 雅稔
第10回	怨霊と御霊	國學院大學准教授	山崎 雅稔

4月	24日
5月	15日、29日
6月	12日、26日
10月	9日、23日
11月	6日、20日
12月	4日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

土曜日

①12:50~14:20

②14:30~16:00

コーディネーター



國學院大學  
教授・博士(文学)  
おおし やすお  
**大石 泰夫**

専門分野 民俗学・上代文学

講座内容

折口信夫(明治20年2月11日-昭和28年9月3日)は、日本文化の構成原理や特質について、いくつもの理論を提示しています。「折口学」とも総称されるその学問は、文学、民俗学、芸能史、神道学などいくつもの分野にわたっています。

平成31年は今上天皇陛下が退位され、皇太子殿下が新天皇として即位されます。天皇の即位儀礼は、長く「踐祚大嘗祭(せんそだいじょうさい)」として執り行われ、本年も皇室行事として11月14,15日に行われることが決まっています。折口信夫はこの天武天皇の時代(8世紀後半)から行われてきた天皇の即位儀礼を、民俗学の立場から論じた論文をいくつか書いていますが、本講座では『古代研究』民俗学編2に収録された「大嘗祭の本義」を読んでいきたいと思ひます。大嘗祭を民俗学的に論じるということは、これを民間に伝承される生活に基づいた祭りとして位置づけようという立場です。1回2コマずつ、全10コマを開講します。

第1回	「大嘗祭の本義」を読む①②	國學院大學教授	小川 直之
第2回	「大嘗祭の本義」を読む③④	國學院大學教授	小川 直之
第3回	「大嘗祭の本義」を読む⑤⑥	國學院大學教授	大石 泰夫
第4回	「大嘗祭の本義」を読む⑦⑧	國學院大學教授	大石 泰夫
第5回	「大嘗祭の本義」を読む⑨⑩	國學院大學教授	大石 泰夫

※この講座とは別に、9月1日・2日・3日(2泊3日)に折口の墓所である石川県羽咋市での折口信夫・春洋年祭(2泊3日)への参加者を募ります。

4月	20日
5月	11日、18日
6月	8日、22日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円

テキスト 折口信夫『古代研究Ⅲ 民俗学篇3』角川ソフィア文庫 920円(本体価格)

土曜日

①12:50~14:20

②14:30~16:00

コーディネーター



國學院大學  
教授・博士(文学)  
おおし やすお  
**大石 泰夫**

専門分野 民俗学・上代文学

講座内容

日本神話は、高天原神話・出雲神話に加え、日向(ひむか・宮崎県)を舞台とする日向神話によって構成されています。講座ではこの日向神話を中心とした古代神話と、その一部を表現している神楽を取り上げ、日本文化の姿を読み解いていきます。

講座では『古事記』『日本書紀』に記された日向を舞台とする神話を取り上げ、「日向神話学」と宮崎県内に伝承されている神事芸能の「神楽」の特色や歴史を、日本全国の神楽と比較する視点も盛り込んで講じます。

宮崎県の神楽は200を超える地区で伝えられ、なかでも国指定重要無形民俗文化財の高千穂神楽、椎葉神楽、銀鏡神楽、高原の神舞などはよく知られています。こうした神楽を映像を交えてみていきますが、神楽という芸能は日本中に実にたくさんの地区に伝承されていますので、映像によって宮崎の神楽との違いをみていくことも織り込みます。講座は、5人の講師が各回とも2コマずつ行います。

第1回	宮崎の神楽にみる豊穰祈願	國學院大學教授	小川 直之
第2回	「高原の神舞」を知る	宮崎民俗学会会長	前田 博仁
第3回	日本の神楽 -東北地方の神楽-	國學院大學教授	大石 泰夫
第4回	日向と天孫降臨神話	宮崎県立看護大学教授	大館 真晴
第5回	中世の天孫降臨神話	國學院大學准教授	渡邊 卓

※2019年度もこの講座の開講期間中に「みやざきの神楽」東京公演が行われます。講座受講者には、この神楽公演の案内もします。

10月	5日、26日
11月	9日、30日
12月	7日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

16

民俗伝承学から日本文化を読む(前期) - 氏神さまと鎮守さま -

水曜日  
14:30~16:00

講師



國學院大學  
元教授・博士(社会学)  
国立歴史民俗博物館名誉教授  
国立総合研究大学院大学名誉教授  
しんたに たかのり  
**新谷 尚紀**

専門分野 民俗学

講座内容

● 國學院大學は日本民俗学を創始した柳田國男とその学問をよく理解し協力して本学に民俗学の講座を開設した折口信夫という二人の巨人が教授を勤めた大学です。その二人がもっとも大きな研究関心を抱いたのは日本の神々と祭りについてでした。そんな偉大な先人には遠く及ぶべくもありませんが、その民俗学、民俗伝承学の観点から今回は、日本の神社の典型でもある氏神さまと鎮守さまについて考えてみたいと思います。

- 第1回 氏神さまとは何か - その歴史と変化 -
- 第2回 鎮守さまとは何か - その歴史と変化 -
- 第3回 荘園鎮守社の創祀と変遷  
- 隅田八幡宮の事例から1 - 荘園領主と在地武士 -
- 第4回 荘園鎮守社の創祀と変遷  
- 隅田八幡宮の事例から2 - 武士団の氏神から農民の氏神へ -
- 第5回 郷村の氏神祭祀 - 近江の苗村神社の事例から -

4月	17日
5月	15日、22日
6月	12日、26日

■単位数 1単位  
■受講料 10,000円

※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト

『氏神さまと鎮守さま - 神社の民俗史 -』 講談社選書メチエ 1,650円(本体価格)

17

民俗伝承学から日本文化を読む(後期) - 氏神さまと鎮守さま -

水曜日  
14:30~16:00

講師



國學院大學  
元教授・博士(社会学)  
国立歴史民俗博物館名誉教授  
国立総合研究大学院大学名誉教授  
しんたに たかのり  
**新谷 尚紀**

専門分野 民俗学

講座内容

● 國學院大學は日本民俗学を創始した柳田國男とその学問をよく理解し協力して本学に民俗学の講座を開設した折口信夫という二人の巨人が教授を勤めた大学です。その二人がもっとも大きな研究関心を抱いたのは日本の神々と祭りについてでした。そんな偉大な先人には遠く及ぶべくもありませんが、その民俗学、民俗伝承学の観点から今回は、日本の神社の典型でもある氏神さまと鎮守さまについて考えてみたいと思います。

- 第1回 近畿村落の氏神と宮座祭祀
- 第2回 宮座祭祀と長老衆
- 第3回 戦国武将と氏神祭祀1 - 毛利・吉川氏と郷村社会1 -
- 第4回 戦国武将と氏神祭祀2 - 毛利・吉川氏と郷村社会2 -
- 第5回 柳田國男の氏神論と折口信夫の神道論

10月	2日、16日
11月	13日、27日
12月	11日

■単位数 1単位  
■受講料 10,000円

※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト

『氏神さまと鎮守さま - 神社の民俗史 -』 講談社選書メチエ 1,650円(本体価格)

18

中世後期の社会と儀礼

月曜日  
12:50~14:20

講師



國學院大學  
教授・博士(歴史学)  
やべ けんたろう  
**矢部 健太郎**

専門分野 日本中世史

講座内容

● 日本の中世社会では、身分制秩序が厳格に機能していた。そこでは、身分・格式に応じた様々な儀礼が整備されており、その社会の構成員は、そうした儀式に参加するにふさわしい知識を有することが求められた。そして、その時々に応じて適切な対応をするための学問として、「有職故実」が発達したのである。本講座では、中世後期の社会で行われていた様々な儀式・行事を素材として、いわゆる公家の有職から影響を受けた武家故実の形成と発展の過程について考察する。

4月	22日
5月	13日、27日
6月	10日、24日
9月	30日
10月	21日
11月	11日、25日
12月	9日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円

テキスト

資料を配付します

講師



國學院大學 客員教授  
京都造形芸術大学教授  
元NHKアナウンサー  
まつだいら さだとも  
**松平 定知**

講座内容

「歴史は暗記」という誤った考え方は、どれだけ多くの「歴史好き」を、抹殺してきたことか。歴史の主人公は「年代」でも、「戦場」でも、「武器」でもない、「人間そのもの」であることを、これまでの講義を通して私は言い続けてきた。その時その時のそれぞれの歴史状況の中で、人と人とが織りなす人間模様の積み重なりが「歴史」を作っていく。「結果として、こういった形で歴史に残っているのは、あの時に、その人の周りにいたああいった人々の、そういった考え方の流れが原因だったのか」—結果から論評しない歴史を、勝者の目だけから見ない歴史を、資(史)料至上主義を廃して「素直でフリーな眼」で見る、歴史の「その時の貌」を、皆さんと一緒に見ていきたいと思う。

第1回	白村江 663	唐・新羅・倭国・百済、任那、皇極、天智、天武、額田王
第2回	天正遣欧使節 1582	大友大村有馬、伊東、千々石、中浦、原、ヴァリニャーノ
第3回	千利休 1591	信長、秀吉、武蔵紹鴎、村田珠光、津田宗及、山上宗二
第4回	伊達政宗 1571	天然痘、片倉小十郎、五六八姫、秀宗、秀吉、家康
第5回	新選組 1863	近藤勇、土方歳三、沖田総司、芹沢鴨、容保
第6回	高杉晋作 1865	功山寺、木戸孝允、伊藤博文、騎兵隊、久坂玄瑞、松陰
第7回	小栗上野介 1860	遣米使節団、勝海舟、権田村、横須賀ドック、東郷平八郎
第8回	森有礼 1889	暗殺、文部大臣、伊藤博文、学制、薩摩スチューデント9
第9回	正岡子規 1902	カリエス、漱石、虚子、蕪村、野球、俳句、絵
第10回	高橋是清 1921	20代首相、山本(権)、原敬、日銀、達磨、2・26

月曜日

14:30~16:00

4月	15日
5月	20日
6月	3日、17日
7月	1日
10月	7日、28日
11月	18日
12月	2日、16日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円



資料を配付します

講師



國學院大學  
教授(特別専任)・博士(文学)  
のなか てつしろう  
**野中 哲照**

専門分野 日本文学(軍記物語)

講座内容

『平家物語』後半部には、いわゆる源平三大合戦(一の谷合戦、屋島合戦、壇の浦合戦)が含まれています。その中でも、屋島合戦譚、壇の浦合戦譚を読みます。屋島合戦譚には、有名な「那須与一」(扇の的)が含まれています。壇の浦合戦譚にも、潮流の変化によって戦況が逆転する劇的な物語が含まれています。これらは、『平家物語』の最大の山場といつてよいでしょう。

物語の内容を鑑賞するだけでなく、時には物語の形成過程などについても深めたいと思っています。これまで見えなかったものが見える、そういう楽しみも得られることを願っています。

水曜日

10:30~12:00

4月	24日
5月	8日、22日
6月	5日、19日
7月	3日、17日
10月	2日、16日、30日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円



資料を配付します

21

遊べる日本美術5

ー遊べる浮世絵 江戸・明治の子どもと遊びー

火曜日

18:30~20:00

講師



國學院大學  
教授・博士(哲学)  
ふじさわ しずこ  
**藤澤 紫**

専門分野 日本美術史・日本近世史・比較芸術学

講座内容

「子ども」と「遊び」が主役！の浮世絵ワールドへようこそ！  
国内はもちろん、海外にも愛好者が多い浮世絵。2020年のオリンピック・イヤーに向けて、展覧会をはじめとした様々なイベントが企画されています。この春に練馬区立美術館で開催される、「くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵展」(藤澤紫監修・2019年4月28日~6月9日)もそのひとつです。本講座ではこの展覧会の見どころをご案内しながら、より広く、そして深く、浮世絵の楽しみ方をレクチャーいたします。  
江戸から明治時代にかけて開花した「浮世絵」の魅力は、華やかな色彩や独特の構図、そして豊かな主題の広がりにあります。特に、生き生きとした当時の庶民文化を描いた作品群は、現代を生きる私たちにも新鮮な感動を与えます。なかでも美人画に代表される美しい人の絵姿は「浮世絵の華」とも称され、時代を超えて多くのファン的心をとらえています。鈴木春信、喜多川歌麿、歌川広重、歌川国芳、そして月岡芳年など、あまたの人気浮世絵師が麗しい人々を描きましたが、同時に、愛らしい子どもや母と子の愛情など、より身近な光景も積極的に描きました。子どもはもちろん、大人も熱狂した「おもちゃ絵」の発想を用いて、実際に江戸、明治の懐かしい遊びを体験する機会も持ちたいと思います。  
国内、海外に伝わる名品を鑑賞しながら、遊ぶ子どもの表情、睦み合う親子の姿、はたまた遊び心 満載の「おもちゃ絵」など、「遊び」の要素で切り取った新鮮でユニークな浮世絵の世界を堪能しましょう。

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円

テキスト くもんの子ども浮世絵コレクション 遊べる浮世絵 江戸の子ども絵・おもちゃ絵大集合！藤澤紫・加藤陽介監修 青幻舎 2,300円(本体価格)

参考書 『遊べる浮世絵 体験版江戸文化入門』藤澤紫著 東京書籍 1,900円(本体価格)

テキスト

参考書

4月 23日

5月 14日、28日

6月 11日、25日

7月 9日

10月 8日、29日

11月 12日、26日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 30名(先着順)  
締切日前に定員に達することがございます

水曜日

12:50~14:20

22

華道に学ぶ ~道具を学ぶ~

講師



洗心流五世家元  
とりい せんげつ  
**鳥居 茜月**

専門分野 華道・美学・美術史

講座内容

花と人間の関わり方は、時代と共に変化して来ましたが、その中で、「華道」は、日本人の精神の核として、何百年もの間続いて参りました。本講座では、実際に花を活ける「実践」を毎年2回設け、「花を活ける」という思いを見直しながら、華道に関わる事を、様々なテーマから学んでおります。  
今年、「華道」のみならず「茶道」にも共通する、陶器などの焼物について、分かりやすく学んで参りたいと思います。「華道」も「茶道」も、敷居が高いと思われがちですが、実は、その学びの内容は、特別な限られた時の事だけではなく、日常生活に取り入れることで、四季の美しさや移ろい、物や命の尊さを敏感に感じ取り、心豊かに暮らすことが出来るようになる、日本人が本来持っている心の力を再認識することです。私達は、この日本人の持つ心の豊かさを、日々の生活に追われて忘れてしまいがちですが、御代わりのこの機会に、是非、日本の風土と感性に感謝しつつ、このような視点から、「華道」と「茶道」の世界に触れてみてはいかがでしょうか。

4月 17日

5月 8日、22日

6月 5日、19日

7月 3日

10月 2日、16日

11月 13日、27日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 30名(先着順)  
締切日前に定員に達することがございます

テキスト 資料を配付します

23

世界の中の日本 ー新冷戦とアジア情勢ー

金曜日

10:30~12:00

講師



國學院大學客員教授  
産経新聞編集局編集委員  
くぼた りつこ  
**久保田るり子**

専門分野 国際関係、安全保障、アジア情勢、朝鮮半島問題、日本外交

講座内容

2019年、国際情勢は米中対立の構図と欧州の混迷によって激動の時代を迎える。建国100年の2049年に世界最強の国家完成を目指す中国は、米国主導の自由主義圏を制覇する「パクス・シニカ」を目指している。一方の米国はEUとともに自国中心主義を掲げる勢力の台頭によって国内分裂という問題を抱え込んでいる。21世紀は新たな力による「新冷戦」の時代となっていくのか。刻々と変化する国際情勢のなか、われわれの多様性のアジアは、成長のASEAN、インド、混沌の朝鮮半島もまた米中の力学の影響下で動き出している。大きな変化の潮流のなかで、日本の立ち位置はどこにあるのか、アジアの大国としてどのような役割を果たそうとしているのか。  
この講座ではジャーナリスティックな視点からアジア、欧州、米国など地域情勢を分析しながら、地政学の見地から歴史、文化、経済を含めて背景を解析していく。「私たちはどんな世界と直面しているのか」「いま世界は、どこに向かっているのか」を考えるヒントになる講座を組み立てていく。

4月 19日

5月 10日、24日

6月 7日、21日

7月 5日

10月 4日、18日

11月 15日、29日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円

テキスト 資料を配付します

24

江戸の刑罰(1) ひゃくたき ー百敲と入墨ー

金曜日

14:30~16:00

講師



新

國學院大學  
元教授・法学博士  
たかしお ひろし  
**高塩 博**

専門分野 日本法制史

講座内容

百敲はおもに軽微な盗みの犯罪に適用します。江戸では小伝馬町牢屋敷の表門が刑場でした。表門前は人々の行き交う往来ですから、この刑罰は公衆の面前でおこなう公開処刑だったのです。受刑者を下帯一つの裸とし、肩背尻を交互に殴打し、苦痛にゆがむ顔は見学する人々の方に向けさせられました。軽い犯罪に用いる刑罰としてはあまりに人権蹂躪ではありませんか？

入墨の刑は、軽い盗みの再犯に適用しました。やや金額のはった盗みに対しては、入墨に五十敲もしくは百敲を併せて科しました。江戸における入墨は左腕の肘のすぐ下のところに二本線を輪に彫り廻らすのです。すなわち前科者の烙印です。入墨は消えることがありませんから、生涯刑です。「敲」と「入墨」の刑罰史における意義を考えてみます。

- 第1回 「敲」の執行方法
- 第2回 ムチの規格と「敲」の字義
- 第3回 将軍徳川吉宗と「敲」
- 第4回 「入墨」の形状
- 第5回 「入墨の方ご入浴おことわり」の意味

4月	19日
5月	10日、24日
6月	7日、21日

■単位数 1単位  
■受講料 10,000円

テキスト 資料を配付します

参考書 「江戸幕府の「敲」と人足寄場ー社会復帰をめざす刑事政策ー」 高塩博著 汲古書院 11,000円(本体価格)

25

江戸の刑罰(2) ー鬼平と人足寄場ー

金曜日

14:30~16:00

講師



新

國學院大學  
元教授・法学博士  
たかしお ひろし  
**高塩 博**

専門分野 日本法制史

講座内容

人足寄場は老中松平定信と“鬼平”こと火盜改長谷川平蔵とのコンビによって、隅田川河口の石川島に誕生しました。寛政2年(1790)のことです。盗みや軽微な犯罪よって、「敲」や「入墨」に処された「無罪之無宿」を收容し、收容中には強制労働を課しました。しかしその労働はただ働きではなく賃金を支給し、その幾分かを積み立てて出所時の就業資金とさせました。なぜこのような処遇法を実施したのでしょうか？

設置後30年を経た文政3年(1820)からは、追放刑の判決を受けた者をも併せて收容することになりましたので、刑罰執行の場という性格も帯びることになりました。石川島人足寄場はその後巢鴨監獄となり、さらに移転して現在の府中刑務所となります。人足寄場の果たした役割を考えます。

- 第1回 人足寄場の成立ー老中松平定信と熊本藩ー
- 第2回 寄場創設における長谷川平蔵の貢献
- 第3回 寄場人足の処遇法ー脇坂義道の心学道話などー
- 第4回 人足寄場の收容者ー武家奉公人および追放刑ものー
- 第5回 人足寄場の諸藩に及ぼせる影響

10月	4日、18日
11月	15日、29日
12月	13日

■単位数 1単位  
■受講料 10,000円

テキスト 資料を配付します

参考書 「長谷川平蔵ーその生涯と人足寄場ー」 瀧川政次郎著 中公文庫(古書)  
「江戸幕府の「敲」と人足寄場ー社会復帰をめざす刑事政策ー」 高塩博著 汲古書院 11,000円(本体価格)

26

かなの鑑賞と実作(一) ー升色紙の散らしの妙を学ばー

月曜日

12:50~14:20

講師



元公益財団法人五島美術館 副館長  
なごや あきら  
**名児耶 明**

専門分野 日本書道史・博物館学(実習)

講座内容

仮名の美しさは、日本人の誰もが自然と身につけている美意識と共通するものです。言いかえれば、仮名は日本の美意識が現れているもっとも象徴的なものだと思います。しかも仮名には、様々な書風があり、それぞれに美しさがあります。時代によるそれらの変遷もあります。11世紀中頃には仮名文字としての美しさを示す典型が登場し、それらを基準として以後の仮名文字が発展したと考えられていました。その典型作品が「高野切」と呼ばれる「古今和歌集」の写本です。

しかし、近年「高野切」より前にも美しい仮名が存在していたことが明らかになり、仮名文字が完成されたといわれる900年ころから1000年頃までの仮名を探る事が重要になっています。そのためにも11世紀の中頃までの仮名をより丁寧に見ていく必要があります。つまり、典型的仮名の作品である「高野切」と似た仮名の研究も重要です。そうした仮名美の要素を備えた「高野切」以外の作品のひとつが「升色紙」です。紙の類似性と筆致の美の類似などから、「高野切」と同じころの作品とも考えられています。

今回は、その「升色紙」を取り上げて、美しい字形や散らし書きの妙を学びたいと思います。

第2回目から書道用具、仮名用半紙をお持ちください。

4月	15日
5月	13日、20日、27日
6月	10日、17日、24日
7月	8日、15日、22日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 30名(先着順)  
締切日前に定員に達することがございます

テキスト 日本名筆選16  
升色紙 伝藤原行成  
二玄社  
2,200円(本体価格)

27

かなの鑑賞と実作(二) —もっとも細いかなの線を学ぶ—

月曜日  
12:50~14:20

講師



元公益財団法人 五島美術館 副館長

名児耶 明

専門分野 日本書道史・  
博物館学(実習)

講座内容

仮名の美しさは、日本人の誰もが自然と身につけている美意識と共通するものです。言いかえれば、仮名は日本の美意識が現れているもっとも象徴的なものだと思います。しかも仮名には、様々な書風があり、それぞれに美しさがあります。時代によるそれらの変遷もあります。11世紀中頃には仮名文字としての美しさを示す典型が登場し、それらを基準として以後の仮名文字が発展したと考えられていました。その典型作品が「高野切」と呼ばれる『古今和歌集』の写本です。

しかし、近年「高野切」より前にも美しい仮名が存在していたことが明らかにされ、仮名文字が完成されたといわれる900年ころから1000年頃までの仮名を探る事が重要になっています。そのためにも11世紀の中頃までの仮名をより丁寧に見ていく必要があります。つまり、典型的仮名の作品である「高野切」と似た仮名の研究も重要です。そうした仮名美の要素を備えた「高野切」以外の作品のひとつが「亀山切」です。紙の類似性から「高野切」と同じころの作品と考えています。その筆致はきわめて細く優しく優雅です。その美を取り上げて、美しい字形や線の美しさを学びたいと思います。

第2回目から書道用具、仮名用半紙をお持ちください。

9月	30日
10月	14日、21日、28日
11月	11日、18日、25日
12月	9日、16日、23日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 30名(先着順)  
締切日前に定員に達することがございます

テキスト 資料を配付します

28

漢字(一)楷書〈初級・中級〉

一点画の基礎と3つの大切なポイントを学ぶ—

月曜日  
14:30~16:00

講師



書道・ペン字講師

小嶋 憲次

専門分野 書法・  
書の商業デザイン

講座内容

「私は悪筆だからどうせ練習したって」とあきらめ、自分に言い聞かせている人はいませんか?諦めたら、あなたは一生書き文字コンプレックスをもつことになるでしょう。美しい文字はあなたに自信を与え、心を豊かにします。

今回は漢字書法の基礎である楷書を学びます。止め、はね、払いを正しく書けるようにし、書道上達にかかせない3つの大切なポイントについて学習し、さらに用筆法(筆使い) 結構法(文字の形のとり方) 章法(字配り)を古典の臨書により学習します。

「筆順の知識」「筆墨硯紙」の文房四宝については授業の進行により順次講義いたします。

●継続して学習している方には、さらに書技能向上のために習熟度に合わせた指導をいたします。

第1回目から書道用具一式(半紙も)をお持ちください。

4月	15日、22日
5月	13日、20日、27日
6月	3日、10日、17日、 24日
7月	1日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 30名(先着順)  
締切日前に定員に達することがございます  
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 資料を配付します

参考書 講座中に随時紹介します

29

漢字(二)行書〈初級・中級〉

一行書の基礎と名筆の臨書を学ぶ—

月曜日  
14:30~16:00

講師



書道・ペン字講師

小嶋 憲次

専門分野 書法・  
書の商業デザイン

講座内容

行書は、楷書のように一点一画を組み立てるのと異なり、点や線を連続的に書くことによって、運筆の遅速、線の太細など多くの表現ができるので、日常性に富むばかりでなく、創造的表現にも適した幅の広い書体でもあります。

今回は、この行書を基礎的学習を中心とし、用筆法、結構法、章法を学び、ご自身の名前を行書で書き、さらに行書古典の名筆を学習します。

●継続して受講されている方には、さらに書技能向上のために習熟度に合わせた指導をいたします。

第1回目から書道用具一式(半紙も)をお持ちください。

9月	30日
10月	7日、21日、28日
11月	11日、18日、25日
12月	2日、9日、16日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 30名(先着順)  
締切日前に定員に達することがございます  
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 資料を配付します

参考書 講座中に随時紹介します

30

## 漢字(三)篆書〈初級・中級〉

—「泰山刻石」と鄧完白の「白氏草堂記」を習う—

講師



書法家  
つづい しのり  
**筒井 茂徳**

専門分野 書学・書道教育

### 講座内容

最も古い書体である篆書は甲骨文以来のいくつかの書体の総称ですが、この講座ではその最後の典型「小篆」を丁寧に学び、その真相を探ります。手本は古代の秦の「泰山刻石」と近代の清の鄧完白の「白氏草堂記」で、いずれも最も本格的な小篆の代表作です。前者は指定のテキストで学び、後者は配布するコピーによって習います。

小篆は縦長ですので、練習は半紙四字書きで行います。

用具は第1回の授業で簡単な説明をいたしますが、すでにお持ちの書道用具一式(半紙は20枚ほど、墨液可)を最初の授業から御持参ください。

木曜日

14:30~16:00

4月	18日、25日
5月	9日、16日、23日、30日
6月	6日、13日、20日、27日

- 単位数 2単位
  - 受講料 20,000円
  - 定員 30名(先着順)
- 締切日前に定員に達することがございます  
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 精選拡大法帖16 「泰山刻石 百六十五字本」 二玄社 2,500円(本体価格)

31

## 漢字(四)隸書〈初級・中級〉

—「史晨碑」と呉讓之「文語横披」を習う—

講師



書法家  
つづい しのり  
**筒井 茂徳**

専門分野 書学・書道教育

### 講座内容

漢代の公式書体であった隸書は今日でも新聞や書籍の題字、また看板などに見ることができます。その隸書を後漢の「史晨碑」と清の呉讓之の「文語横披」を学んで、その真髄に迫りたいと考えています。「史晨碑」はテキストを参考にしながら、拡大手本によって習います。呉讓之の「文語横披」は配布するコピーによって学びます。

練習は半紙六字書きで行い、用筆や結構法を丁寧に説明します。

用具は第1回の授業で簡単な説明をいたしますが、すでにお持ちの書道用具一式(半紙は20枚ほど、墨液可)を最初の授業から御持参ください。

木曜日

14:30~16:00

9月	26日
10月	3日、10日、17日、24日、31日
11月	7日、14日、21日、28日

- 単位数 2単位
  - 受講料 20,000円
  - 定員 30名(先着順)
- 締切日前に定員に達することがございます  
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 「中国法書選6 史晨前碑・史晨後碑」 二玄社 1,800円(本体価格)

32

## 漢字(五)行書〈初級・中級〉

—王羲之「集字聖教序」を習う—

講師



國學院大學  
准教授  
のむら  
**野村 ひかり**

専門分野 中国書法

### 講座内容

文章に合わせて文字を集めて書跡を作ること「集字」といいます。

書聖・王羲之(303?~361?)の書は人々の憧れの的でありましたが、一般人は見る機会がありませんでした。そうした人々の渇きを癒やしたのが、羲之の文字を集めた集字碑(集王碑)です。

王羲之の集字碑では、「興福寺断碑」(721)も知られるところではありますが、この「集字聖教序」(672)はその後の集字碑の嚆矢ともなる名品です。

「聖教序」とは、かの玄奘三蔵法師がインドより将来した仏典を漢訳し、唐の太宗に序文を請い、序が下賜されるとともに高宗にも記を賜ったものを指しています。碑は現在、西安碑林に列置されています。

この「集字聖教序」は、碑がつくられた唐代以来、王羲之の行書を習う手本として重んじられてきました。本講座では、初級の方は行書の基本を学び、中級の方は基本から応用へとすすみ、半切作品にも取り組みます。

第1回目から書道用具一式(筆、墨、硯、半紙、下敷、文鎮など)をご持参ください。新たに購入される場合は、第1回目の用具用材についての説明の後、ご購入ください。

金曜日

14:30~16:00

4月	19日、26日
5月	10日、17日、24日、31日
6月	7日、14日、21日、28日

- 単位数 2単位
  - 受講料 20,000円
  - 定員 30名(先着順)
- 締切日前に定員に達することがございます  
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 中国法書選16 「集字聖教序」(東晋王羲之) 二玄社 1,600円(本体価格)

# 33

## 漢字(六)行書・草書〈初級・中級〉 -王羲之の尺牘を習う-

金曜日  
14:30~16:00



講師  
國學院大學  
准教授  
のむら  
**野村 ひかり**

専門分野  
中国書法

### 講座内容

王羲之(303?~361?)の尺牘(手紙)の書を学びます。  
王羲之の功績は、書体史上、書表現を芸術として完成させたところにあります。前期で学ぶ「集字聖教序」や今期に学ぶ「奉橘帖」「初月帖」などの古典は、今日の私達に行書・草書の実りの典型を示してくれています。  
千数百年後の今日なお永遠の理想像として仰がれ続けている王羲之の書ですが、実は、一片の真跡も存在してはおりません。双鉤填墨本もしくは摹本が臨本です。  
写したものでありながらなぜ今日まで名品として伝承してきたか、どのように写されたのか、真跡はどのように書かれていたのか等を考えながら、学んでいきます。  
そして各方面からの分析により、王羲之尺牘の真の姿をとらえながら、作品に皆さん自身の生命を吹き込んでいただきたいと思います。  
第1回目から書道用具一式(筆、墨、硯、半紙、下敷、文鎮など)をご持参ください。新たに購入される場合は、第1回目の用具用材についての説明の後、ご購入ください。

10月	4日、11日、18日、25日
11月	8日、15日、22日、29日
12月	6日、13日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 30名(先着順)  
締切日前に定員に達する  
ことがございます  
※前期のみ、後期のみの  
受講も可能です。

テキスト 中国法書選12 『王羲之尺牘集(上)』(東晋王羲之) 二玄社 1,600円(本体価格)

# 34

## 日本の漢字(一)行書・草書〈初級・中級〉 -橘逸勢「伊都内親王願文」を習う-

木曜日  
12:50~14:20



講師  
國學院大學  
兼任講師  
いししい きよかず  
**石井 清和**

専門分野  
書法

### 講座内容

前回(30年度)は空海・最澄を習いました。今年は空海と共に三筆の橘逸勢の「伊都内親王願文」を習います。空海の「風信帖」と逸勢のこの「願文」は、誰も一度は手習してみたいと思う魅力のある名品です。804年、逸勢は空海と同船で中国に渡り、王羲之等の書を習い日本に唐様の書を広めた。この「願文」は字形は唐様(中国の行・草)であるが、線質は中国の粘っこく感じられるものに比べ、日本人が書く柔らかさと穏やかさを感じさせる。  
本講座では、筆の持ち方、基本点画の書き方を繰り返して練習し、筆できれいな線と品格のある文字を書くにはどうしたらよいのかを考えます。これをふまえて、原寸大の臨書、半紙六字の臨書、半切等に拡大臨書、またこの「願文」の文字を集字して作品制作など自由に楽しんで筆を持ってください。  
学習方法は、一、基本点画の書き方。二、各点画の起筆と収筆の筆づかい。三、右上の横から縦への筆の角度と筆圧の変化。四、ハネの筆づかい。五、字形の要点を見つける目を養う。

4月	18日、25日
5月	9日、16日、23日、30日
6月	6日、13日、20日、27日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 30名(先着順)  
締切日前に定員に達する  
ことがございます  
※前期のみ、後期のみの  
受講も可能です。

テキスト 奈良平安の書④ 「伊都内親王願文 橘逸勢」 天来書院 1,100円(本体価格)

# 35

## 日本の漢字(二)行書・草書〈初級・中級〉 -橘逸勢「伊都内親王願文」を習う-

木曜日  
12:50~14:20



講師  
國學院大學  
兼任講師  
いししい きよかず  
**石井 清和**

専門分野  
書法

### 講座内容

前講座(一)とほぼ同じ学習方法となります。(一)を受講した方は自分で課題をもって書に親んでもらいたい。日常生活に使える書、半切など大きい作品を作る。集字をして2・3字の小品を作るなど。  
初めての方は本講座(一)(二)を続けて受講することが理想ですが、(一)か(二)のいずれかを受講しても差し支えありません。  
「粘葉本」を続けて受講されてきた方は、「粘葉本」を手習しつつ構いません。また、空海・最澄も手習し続けても構いません。合間に唐様の書で和様の書に利用できる筆づかいをみつけてください。  
講座(一)(二)とも第1回目の講座で文房具について説明します。紙・筆を購入しようと思っている方は、この説明を聞いてから購入すればよいと思います。使用の紙・筆に疑問がある方はご持参ください。

9月	26日
10月	3日、10日、17日、24日、31日
11月	7日、14日、21日、28日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 30名(先着順)  
締切日前に定員に達する  
ことがございます  
※前期のみ、後期のみの  
受講も可能です。

テキスト 奈良平安の書④ 「伊都内親王願文 橘逸勢」 天来書院 1,100円(本体価格)

36

仮名(一)〈初級・中級〉－美しい仮名を書きたい人のために－

火曜日

12:50~14:20

講師



国学院大学  
兼任講師  
すぎうら たえこ  
**杉浦 妙子**

専門分野 仮名書道・  
日本書道史

講座内容

私たちは一寸した物に文字を書く時でも、美しく書きたいと望んでいます。それは書が日本文化の中に大きく位置づいているからなのでしょう。古典文学を紐解くと、所々に書に関する表記が見られ、それが物語展開へ大きく関わっていることに気付かされます。

本講座は仮名が最も発展した平安時代撰開期及び院政期の古筆を選択し、学習していく講座です。前期は格調高く斬新な文字構成が魅力の『高野切第三種』をテキストとして仮名の基礎を学びましょう。実際の講座内では、個人の實力に合わせた学習の仕方を行いますから、初心者の方も安心して合流できます。

また、博物館などで催される展覧会などもその都度紹介していきますから、講座後に足を運ばれるのも良いかと思えます。

初めて受講される方は、1回目の講座の時に手持ちの書道用具をお持ちください。まず、用具の見直しから始め、各自の手に合った用具をご紹介します。

4月	16日、23日
5月	14日、21日、28日
6月	4日、11日、18日、25日
7月	2日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 37名(先着順)  
締切日前に定員に達することがございます  
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 日本名筆選5 『高野切第三種』 伝紀貫之筆 二玄社 2,600円(本体価格)

37

仮名(二)〈初級・中級〉－美しい仮名を書きたい人のために－

火曜日

12:50~14:20

講師



国学院大学  
兼任講師  
すぎうら たえこ  
**杉浦 妙子**

専門分野 仮名書道・  
日本書道史

講座内容

後期は『高野切』の書かれた時代よりやや時代の下がった『本阿弥切』をテキストとして学んでいきます。『本阿弥切』は料紙と文字のコラボレーションが見事な古筆ですから、眺めていても楽しい古筆です。

前期と同様、初学者のために「いろは」から始めていきますから、後期からの受講も可能です。この講座はリピーターが多いので、少し古筆に慣れてきた方達には、「散らし」の学習も併せて行いたいと思います。『本阿弥切』は一見行書きのように見えますが、纏綿の妙のためにいろいろの工夫がなされています。この工夫を学んでいきながら、料紙などに散らし書きする基本も学んでいきましょう。

初めて受講される方は、1回目の講座の時に手持ちの書道用具をお持ちください。まず用具の見直しから始め、各自の手に合った用具をご紹介します。

9月	24日
10月	1日、8日、15日、29日
11月	12日、19日、26日
12月	3日、10日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 37名(先着順)  
締切日前に定員に達することがございます  
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 日本名筆選29 本阿弥切 [伝小野道風] 二玄社 3,000円(本体価格)

38

仮名(三)〈初級〉－仮名書道に親しむ－

月曜日

10:30~12:00

講師



国学院大学  
准教授・博士(芸術学)  
はしもと たかひろ  
**橋本 貴朗**

専門分野 書道・日本書道史

講座内容

本講座では、端正な書風で平安時代の仮名の一典型を示す「高野切第三種」「粘葉本和漢朗詠集」によりながら、平仮名・変体仮名・連綿(字を続けて書くこと)と、順を追って学んでいきます。その上で、古筆(古人の筆跡)の臨書へと進み、さらに短冊などにもチャレンジしたいと考えています。仮名書道の基本的な技法の習得を目指すとともに、関連する日本書道史の基礎知識についても学んでいきたいと思えます。

必要な用具・用材については、講座第1回目に説明します。第2回目以降は、各回ともに原則として前半が講義、後半が実習です(講義内容等により、添削は2~3回に1回程度となる場合もあります)。

なお、本講座の内容は、平成29年度前期開講の同名講座に準ずるものです。

4月	15日、22日
5月	13日、20日、27日
6月	3日、10日、17日、24日
7月	1日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 30名(先着順)  
締切日前に定員に達することがございます  
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。  
※一部、日程変更の可能性が有ります

テキスト 資料を配付します

参考書 『図説かなの成り立ち事典』 森岡隆著 教育出版 2,500円(本体価格)  
日本名筆選5 『高野切第三種』 伝紀貫之筆 二玄社 2,600円(本体価格)

その他、講座中に随時、紹介します

39

仮名(四)〈中級〉—継色紙—

月曜日  
10:30~12:00

講師



國學院大學  
准教授・博士(芸術学)  
はしもと たかあき  
**橋本 貴朗**

専門分野 書道・日本書道史

講座内容

「継色紙」は、平安時代の古筆を代表する優品の一つで、「寸松庵色紙」「升色紙」とあわせて三色紙と総称されています。名前に「色紙」とありますが元は冊子本で、『万葉集』『古今和歌集』などの歌が書かれています。

「継色紙」といえば巧みな散らし書き(行の高低・長短や行間の広狭に変化をつける書き方)で知られていますが、本講座ではその散らし書きの特性をはじめとして、料紙(書かれた紙)、装丁(本の仕立て方)等、様々な観点から丁寧に見ていき、「継色紙」に対する理解を深めるとともに、仮名書道の技法のいっそうの習熟を目指します。

必要な用具・用材については、講座第1回目に説明します。第2回目以降は、各回ともに原則として前半が講義、後半が実習です(講義内容等により、添削は2~3回に1回程度となる場合もあります)。

9月	23日、30日
10月	7日、21日、28日
11月	18日、25日
12月	2日、9日、16日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 30名(先着順)  
締切日前に定員に達することがございます  
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。  
※一部、日程変更の可能性がございます

テキスト

日本名筆選13 『継色紙』 伝小野道風筆  
二玄社 2,800円(本体価格)

参考書

『平安かなの美』 村上翠亭監修・高城弘一編 二玄社 2,600円(本体価格)  
『図説かなの成り立ち事典』 森岡隆著 教育出版 2,500円(本体価格)

その他、講座中に随時、紹介します

40

隷書(一)〈初級・中級〉—隷書に親しむ—

水曜日  
12:50~14:20

講師



國學院大學  
兼任講師  
よこくら よしお  
**横倉 佳男**

専門分野 書法

講座内容

本講座では漢代に正式書体となった隷書を学びます。各講座時間の前半は漢代の様々な隷書の名品の鑑賞と漢代以降の隷書の変遷にも触れ、隷書の多様さを学びます。時間の後半は実習を行い、漢代の隷書の名品の一つ、曹全碑を基本点画から学んでいきます。隷書を初めて習われる方、学び直しを考えている方にも安心して受講いただけます。

実習は各自の進捗状況に合わせて個別に添削指導してまいりますので、隷書を学んだことのない方もぜひこの機会にチャレンジしていただきたいと思ひます。また、隷書学習の経験のある方には随時相談の上、付随した教材・テキストの紹介をしながら応用的な実習にも対応します。

講座の第1回目は用具の説明と講座の進め方、簡単な実習を行います。書道用具をお持ちの方は用具一式を持参ください。新たに購入される方は第1回目の説明の後に購入されることをお勧めします。いろいろな疑問・心配のある方は第1回目の講座で遠慮なくご質問ください。

4月	17日、24日
5月	8日、15日、22日、29日
6月	5日、12日、19日、26日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 20名(先着順)  
締切日前に定員に達することがございます  
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト

資料を配付します

参考書

講座時に随時紹介してまいります

41

篆刻(一)〈初級・中級〉—篆書・篆刻に親しむ—

水曜日  
12:50~14:20

講師



國學院大學  
兼任講師  
よこくら よしお  
**横倉 佳男**

専門分野 書法

講座内容

本講座は篆書・篆刻に親しむ講座です。篆書・篆刻は表裏一体の面があるため、篆書の基本を学びつつ、篆刻を学んでいく手法を取ります。各講座時間の前半は篆書・篆刻の基礎知識や作品鑑賞を行います。後半は実習と添削を行います。手本等は随時プリントを配布してまいります。

篆書は秦の会稽刻石で篆書の基本を学ぶとともに、清の鄧完白による篆書千字文を学び篆書の形を少しづつ覚えていくようにします。

篆刻は書画作品に捺落款印から様々な用途に使用できる遊印、年賀状に使用する吉語印など各自の希望・用途にあわせて作成してもらいます。

実習は各自の進捗状況に合わせて個別に添削指導してまいります。経験の有無に関わらず、また篆書・篆刻をこれから学ぼうと考えられている方もぜひこの機会にチャレンジしていただきたいと思ひます。

第1回目は用具の説明と講座の進め方、簡単な実習を行います。書道用具をお持ちの方は用具一式を持参ください。新たに購入される方は第1回目の説明の後に購入されることをお勧めします。いろいろな疑問・心配のある方は第1回目の講座で遠慮なくご質問ください。

9月	25日
10月	2日、9日、16日、23日
11月	13日、20日、27日
12月	4日、11日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円  
■定員 20名(先着順)  
締切日前に定員に達することがございます  
※前期のみ、後期のみの受講も可能です。

テキスト 資料を配付します

参考書 講座時に随時紹介してまいります

42

『古事記』下巻を読む ー仁徳・履中・反正ー

木曜日

10:45~12:15

講師



國學院大學  
准教授・博士(文学)  
わたなべ たかし  
**渡邊 卓**

専門分野 日本上代文学・  
神道古典・国学

講座内容

前年度に引き続き、『古事記』下巻の仁徳記から読み進めていきます。中国古典に由来する理想的帝王像の影響を受ける「聖帝」としての仁徳像は、下巻が善政者である天皇による新時代を描いているといえます。しかし、一方で仁徳天皇の物語は、恋多き天皇としての側面もあり、多くの歌謡とともに語られていきます。歌と物語の関係は、『古事記』の編纂の問題と深く関わるため、歌の解釈をしっかりと行いながら読み進めていきたいと思っています。仁徳記に続く履中記からは仁徳の皇統を継ぐ天皇の物語となります。物語の中心を占める反乱伝承から、当時の時代背景や皇統譜の問題などについて考えていきます。

本講座では『日本書紀』『風土記』『万葉集』などの他文献と比較しながら、『古事記』を読み進めることで『古事記』の特質を明らかにしていきます。ときには神道学や考古学の知見も活用して『古事記』が描く世界観を学んでいきます。読み進める場面は、昨年度からの継続となりますが、初めて受講する方にも『古事記』のおもしろさを理解いただけるよう、丁寧に講義を進めて参ります。

4月	25日
5月	16日、30日
6月	13日、27日
7月	11日
10月	10日、24日
11月	7日、21日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円



『新版 古事記(現代語訳付き)』 中村啓信 訳注 角川ソフィア文庫 1,160円(本体価格)

43

源氏物語講読 ー「関屋」「絵合」「松風」の3帖を読むー

金曜日

14:50~16:20

講師



國學院大學  
教授・博士(文学)  
はやし たかかず  
**林田 孝和**

専門分野 平安朝文学

講座内容

『源氏物語』は、日本人の精神史に生き続けている伝承的事実が破綻なく織り込まれ、しかもその上に作者の巧みな作為のバールがかけられています。この伝承性と作為性とは常に微妙に映発しあい、この作品の醸す(もののおはれ)の世界を深甚なものにしています。

こうした『源氏物語』の有する文学性の発掘をめざして、今年は第16帖「関屋」、第17帖「絵合」、第18帖「松風」の3帖を読んでいきます。

第1回目は『源氏物語』への誘いとして、物語の「雪」の描写について述べます。2回目からテキストに入りますが、この3帖は、光源氏29歳から31歳までの物語です。「関屋」では、光源氏は常陸から帰京する空蟬一行と逢坂の関で再会、その後空蟬は出家します。「絵合」では六条御息所の忘れ形見・前斎宮(斎宮女御)は冷泉院の後宮に入り、絵を好まれる帝の御前で、弘徽殿女御と絵の優劣を競います。「松風」では明石の君が姫君を伴い上京、大堰に移り住みます。光源氏は紫の上に気を遣いなかなか訪れることができません。

4月	26日
5月	17日、31日
6月	14日、21日
7月	12日
10月	11日、25日
11月	8日、22日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円



資料を配付します



『源氏物語事典』 林田孝和他編 大和書房 7,200円(本体価格)

44

松尾芭蕉の紀行文を読む ー『鹿島詣』『笈の小文』ー

金曜日

14:50~16:20

講師



國學院大學  
准教授  
なかむら まさあき  
**中村 正明**

専門分野 近世文学

講座内容

本講座は、松尾芭蕉の遺した紀行文を丹念に読み解いていくものである。松尾芭蕉は、その俳業の集大成ともいべき紀行文『おくのほそ道』以前にも、幾つもの紀行文を書いている。それは『野ざらし紀行』に始まり、『鹿島詣』、『笈の小文』、『更科紀行』と書き継がれていったものである。

芭蕉は、旅を重ね、多くの人々と出会い、俳諧に対する思索と研鑽を積むことによって、新しい俳諧<蕉風俳諧>を生み出すに至るのである。つまり彼の紀行文を読み進めることは、芭蕉の俳諧の変化と深化の過程を追うことにも通じるわけである。

今回は、第二の紀行文『鹿島詣』と第三の紀行文『笈の小文』をじっくりと読み込んでいく。と同時に、江戸時代の俳諧の方法や状況に関しても触れていきたいと考えている。

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 第1回 『鹿島詣』概説・旅立ち     | 第6回 『笈の小文』概説           |
| 第2回 『鹿島詣』鎌谷の原・萩野・布佐 | 第7回 『笈の小文』冒頭部(風雅論)     |
| 第3回 『鹿島詣』鹿島         | 第8回 『笈の小文』旅立ち・紀行文論     |
| 第4回 『鹿島詣』発句など・まとめ   | 第9回 『笈の小文』紀行文論・鳴海      |
| 第5回 芭蕉の小俳文          | 第10回 『笈の小文』保美・伊良古崎・名古屋 |

4月	19日
5月	10日、24日
6月	7日、21日
7月	5日
10月	4日、18日
11月	15日、29日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円



『芭蕉紀行文集』  
中村俊定校注  
岩波文庫  
660円(本体価格)

# 45 『枕草子』と『大鏡』などを併せ読む

—中関白家の人々を追う—(上)

月曜日  
13:05~14:35



講師  
国学院大学栃木短期大学教授(学長)・  
国学院大学名誉教授・博士(文学)  
なかむら ゆきひろ  
**中村 幸弘**

専門分野  
日本語学

### 講座内容

『枕草子』では清少納言によって描かれる華麗なる一族が、『大鏡』では笑い者にされたりしています。権勢を極めていた人々が、その後どうなっていったか、当代の他の文献で確かめていきたいと思います。『栄花物語』ではどう語られているかも挟み込むことにいたしました。『枕草子』の作者・清少納言を、紫式部はどう見ていたか、『紫式部日記』から紹介していきます。

以下、『枕草子』は㊦、『大鏡』は㊦、『栄花物語』は㊦というように、省略で示します。

- 第1・2回 ㊦(177段)一中宮定子の許に出仕／伊周の取り持ち(平生は道隆も隆家も)
- 第3回 ㊦(98段)一装身具としての扇、献上／洒落を楽しむ隆家
- 第4・5回 ㊦(7段)一ペットの猫に仕える女官／天皇に嫌われて廷臣たちに追いやられる犬(一条天皇のお妃たちと廷臣たち)
- 第6回 ㊦(見果てぬ夢・80)一隆家、花山院に矢を射放つ
- 第7回 ㊦(見果てぬ夢・81)一伊周の数々の不法発覚
- 第8回 ㊦(道隆・146)一伊周・道長の競い1(前払い)
- 第9回 ㊦(道隆・147)一伊周・道長の競い2(御嶽詣でと双六)
- 第10回 ㊦(浦々の別れ・5)一伊周・隆家の配流の宣命下る

4月	15日
5月	13日、27日
6月	10日、24日
7月	8日
10月	7日、21日
11月	11日
12月	2日

■単位数 2単位  
■受講料 20,000円



テキスト 手造り資料をコピーして配付します。



参考書 新編日本古典文学全集『枕草子』『栄花物語』『大鏡』『紫式部日記』など

# 46 健康の心理学

火曜日  
13:05~14:35



講師  
国学院大学  
助教  
いとう ひでゆき  
**伊藤 英之**

専門分野  
スポーツ心理学

### 講座内容

「病は気から」という言葉があるように、健康的な生活を送るためには、身体の調子を整えることももちろん重要なことですが、それと同じくらい心の調子を整えることも、とても重要なことです。しかし、心を健康的に保つ方法やコツは意外と知らないのではないのでしょうか。この講義では、健康に役立つ心理学の理論やすぐに実践できる心の調子の整え方をお話したいと思います。講座は、基本的に講義形式で行いますが、必要に応じてワークを行ったり、更衣不要の簡単な動作法も行います。聞いて理解するだけでなく、体験も交えて健康を維持・増進するための心の整え方を深く理解しましょう。

- 第1回 心の健康とは？
- 第2回 心の状態を知る方法
- 第3回 心の健康のための認知療法
- 第4回 心の健康のための行動療法
- 第5回 心の健康のための心理技法

4月	16日
5月	14日、28日
6月	11日、25日

■単位数 1単位  
■受講料 10,000円



テキスト 資料を配付します

## オープンカレッジ講座風景



▲神道を知る講座  
神社参拝

遊べる日本美術講座▶



書道講座▶



▲万葉集を読む講座

オープン  
カレッジ  
特別講座

コーディネーター



國學院大學  
教授・博士(宗教学)

いし い けん じ  
石井 研士

専門  
分野 宗教学・  
宗教社会学

講座内容

人生わずか50年といわれた時代ははるかに遠く、現在の平均寿命は男性81歳、女性87歳である。そして近い将来、寿命は百歳を超えることが予想されている。我々はいつまでも元気で健康な日々を過ごすことを望み、若さや美しさを維持することを願っている。

他方で、高齢になっても子どもを頼ることはますます難しくなり、人間関係も狭くなっている。夫が亡くなったときに妻が「死後離婚」を宣告することもあるという。

かつて日本人の間には、死に方と死者を祀る方法について、共有された考え方ややり方があった。しかしながら、近年になって、葬送の儀礼は大きな変化を見るようになった。

儀礼の変化は私たち日本人の世界観、死に関しての変容を背景にしている。もはや伝統的な「死に方」が通用しなくなったときに、私たちはどうしたらいいのだろうか。

現代日本社会における「死」の問題を、儀礼文化を通して考える。

第1回	イントロ：私たちは死にたいのか、それとも不死を願うのか	國學院大學教授 石井 研士
第2回	死者とともにまっすぐ生きる ー東北被災地の周辺からー	東北大学教授 高橋 原
第3回	高齢化社会の老いと死 ー民俗学の視点から考えるー	国立歴史民俗博物館教授 関沢まゆみ
第4回	葬式は誰がするのか、してきたのか ー死ぬことと送ること：民俗伝承からのメッセージー	國學院大學元教授・博士(社会学) 国立歴史民俗博物館名誉教授 国立総合研究大学院大学名誉教授 新谷 尚紀
第5回	日本人の死生観ー臓器移植問題を契機にして	東洋英和女学院大学教授 渡辺 和子

5月	17日
6月	14日
7月	12日
10月	11日
11月	8日

■単位数 なし  
■受講料 10,000円

テキスト 資料を配付します

以下の項目についてご注意くださいようお願い申し上げます。

- レジュメの郵送は行っておりません。
- 前の時間の授業が終わるまで教室に入らないでください。
- 欠席のご連絡は必要ありません。

## エクステンションセンターが主催する公開講座のご紹介

### 公開古典講座

「萬葉集」…『巻十三』を読む(予定)

「源氏物語」…『御法』巻を読む(予定)

昭和初期に開講した「萬葉講座」の流れを受け継ぎ、「古典文学の國學院」ならではの伝統に根ざした内容の夏季短期集中講座として受講者から強い支持を受けています。

本年度は、午前中に「萬葉集」、午後「源氏物語」の講座を開講いたします。

開催日 ■ 2019年7月17日(水)～21日(日) (5日間集中講座)

会場 ■ 渋谷キャンパス

受講料 ■ 「萬葉集」「源氏物語」各講座とも 1日2,000円 4日以上は8,000円

◎オープンカレッジ会員は各講座5日間連続受講の場合5,000円

### 伝統文化に学ぶ講座 〈大阪〉〈東京〉

昭和25年に文部省の後援のもと、主に華道関係者の教養を高める目的で「華道学術講座」として開設し、昭和33年からは大阪市内においても開講しています。平成13年度から内容を古典文学・民俗学など伝統文化に関するものに拡大したのに伴い、名称を「伝統文化に学ぶ講座」に改め、華道関係者をはじめとする多くの方々の受講を得ています。

開催日 ■ <大阪>2019年7月15日(月・祝)

<東京>2019年7月28日(日)

会場 ■ <大阪>ホテルアウィーナ大阪

<東京>渋谷キャンパス

受講料 ■ 大阪・東京とも 3,000円

### たまプラーザキャンパス公開講座(教養講座)

たまプラーザキャンパスが開校した昭和60年から毎年9月中旬に開催。地元横浜市をはじめ田園都市線沿線の地域住民の生涯学習に対するニーズを背景に、地域に根付いた教養講座として今ではすっかり定着しています。

開催日 ■ 2019年9月10日(火)～12日(木) (3日間連続講座)

会場 ■ たまプラーザキャンパス

受講料 ■ 1日 500円



詳細は、各講座とも6月中旬以降にお問い合わせください。

オープンカレッジご受講の方には、各講座リーフレットが出来上がり次第お送りいたします。

問合せ先 エクステンションセンター

TEL 03-5466-0270 FAX 03-5466-0528

e-mail [jigyoun@kokugakuin.ac.jp](mailto:jigyoun@kokugakuin.ac.jp) ホームページ <http://www.kokugakuin.ac.jp>

## 國學院大學博物館のご紹介

國學院大學博物館は、國學院大學が有する数々の学術資料や研究成果を発信する施設です。館内は、考古、神道、校史の3つの展示ゾーンと、さまざまなテーマによる研究成果を公開するための企画展示室で構成されています。展示場の総面積は約1600平米、およそテニスコート6面分の広さがあります。年間5～6回の企画展・特別展を開催しており、ミュージアムトークやワークショップも随時開催しています。

**開館時間** ■ 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)  
**開館日** ■ 通年(土・日・祝含む)  
**休館日** ■ 不定期(館内保守及び大学の定める休日)  
 ※博物館ウェブサイトの開館カレンダーでご確認ください。

**入館料** ■ 無料

**問合せ先** ■ TEL : 03-5466-0359

URL : <http://museum.kokugakuin.ac.jp/>



## ● 國學院大學萬葉の花の会

平成5年、たまプラーザキャンパスに、國學院大學教職員有志が、約150種の萬葉集ゆかりの植物を植栽して、「萬葉の小径」を開設いたしました。植物を通して「萬葉集」に親しみ、「萬葉集」を通して日本の自然や文化を理解するため、広く一般の方々を対象に年1回、公開講座を開催しています。

**開催時期** ■ 9月初旬

**会場** ■ 國學院大學 たまプラーザキャンパス  
 (予定・詳細は、毎年7月頃決定となります)

**会費** ■ ※資料代・通信費を含む。会費は変更になる場合があります。  
 2,000円(学生1,500円)

**萬葉弁当代** ■ 萬葉弁当代 ※申込時の事前受付のみ 1,000円

**発行物** ■ 萬葉の花ごよみ(カレンダー)

「萬葉の花の会」オリジナルカレンダーです。

萬葉の花が、12か月分12種類、季節ごとに鮮やかな写真で掲載されています。また、各月ごとに写真と関連した歌が添えられています。

毎年12月頃発行

※予約販売のみ(「萬葉の花の会」開催時に、予約を受け付けております)



植物で見る 万葉の世界(書籍)

万葉植物155種類を、季節ごとに分類し、それぞれに関わる歌と共にご紹介しています。國學院大學 渋谷ならびに横浜たまプラーザ両キャンパスの生協にて、取り扱っております。(一般書店等ではお取り扱いしていません)

### 問合せ先

萬葉の花の会 幹事 大久保 規志  
 (國學院大學 神道研修事務課内)

TEL 03-5466-0892 FAX 03-5466-0163

# 國學院大學オープンカレッジ申し込み方法

## 受ける講座を決める

### FAXの場合

受講申込書 (FAX用) に記入

### ハガキの場合

受講申込書 (ハガキ) に記入

- 新規の方 → 入会金
- 更新の方 → 更新料 (更新が必要な方は封筒に記載してあります)
- 受講料 → 会員区分ごとに違うので27ページで確認して記入

FAXの場合

受講申込書 (FAX用) を、エクステンションセンター宛にFAX (払込取扱票は切り離さない)

ハガキの場合

受講申込書 (ハガキ) に切手と個人情報保護シールを貼り発送

添付書類の提出が必要な方は同送

締切 3/22 (金)

受講申込書 (FAX用) の下半分 (払込取扱票) を切り取り、郵便局で振込 (手数料は自己負担)

### 受講許可証受領

順次エクステンションセンターより発送

### 受講

受講初日、指定された会場へ

## → 全講座先着順です。

- ◆定員のある講座について、定員超過で受講できない場合はご連絡を致します。
- ◆後期開講講座もお申し込みいただけます。

## → FAXまたはハガキでお申し込みください。

各講座内容の  
ページで確認

更新は4年に1度です。  
該当の方は封筒に記載  
してあります。

会員区分一覧表

会員区分	所 属	受講料	入会金	更新料	添付書類
1	一般	全 額	¥5,000	¥3,000	
2	本学の科目等履修生	全 額	¥3,000	¥3,000	科目等履修生証の写し ※毎年度提出
3	本学の卒業生	全 額	¥3,000	¥2,000	
4	若木育成会会員	半 額	¥3,000	¥3,000	学生証の写し等 ※毎年度提出
5	本学学部・大学院学生・法人教職員	半 額	無 料	無 料	学生証の写し・他 ※毎年度提出
6	渋谷区・横浜市青葉区在住者	半 額	¥5,000	¥3,000	在住を証明するもの (免許証・健康保険証等の写し) ※入会時・更新時に提出
7	他校の学生(高校・大学・大学院)	半 額	¥3,000	¥3,000	学生証の写し ※毎年度提出

- ◆会員区分の併用はできません。
- ◆特別講座「豊かに生きる 一納得できる死を迎えるために」のみご受講の方は入会金・更新料ともに必要ありません。
- ◆会員期間(4年間)が経過した後、受講を再開される方は更新扱いになります(入会金は必要ありません)。
- ◆会員区分6の方が居住の区から転出される場合は、必ずエクステンションセンターにご連絡下さい。

**FAXの方…払込取扱票は切り離さず送信してください。切り離すと個人の  
識別ができません。**

- ◆FAXの到着確認・入金の確認連絡は致しておりません。
- ◆大学が入金を確認した時点で申込完了です。
- ◆3月中旬受講許可証が到着するまでお待ちください(受講許可証の契印は廃止致しました)。
- ◆新規・更新の方の会員証は、受講許可証とともにお送りします。

# 申込記入例

全て記入し、FAXしてから郵便局に行ってください。

## 國學院大學 オープンカレッジ受講申込書 (FAX用)

受付	入力	入金	備考

希望講座名 申込日： 年 月 日

講座番号	講座名	受講料
05	大人のための万葉集	10,000 円
32	漢字(五)	20,000 円
33	漢字(六)	20,000 円
		円
		円

新規ご入会の方 ➡

今回更新の方 ➡

入会金	円
更新料	円
合計	50,000 円

※入会金・更新料は、P27「会員区分一覧」でご確認ください

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいいらっしゃる場合ご記入をお願いします

紹介者氏名	紹介者 会員番号								
-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

- このページを切り取り、添付書類と共に直接FAXしてください。 \*払込取扱票切取前にFAXしてください。 FAXで申し込まれた方は、巻末のはがきを送る必要はありません。
- 受講申込書受理の連絡はいたしませんので、申し込み後直ちに受講料等をお振込ください。
- 申し込みの手順はP26, 27「申し込み方法」をご覧ください。

**FAX 03-5466-0528**

下半分を切り離す前にFAXしてください

入会金は新規の方のみです。更新は4年に1度です。両方かかることはありません。会員番号をお持ちの方は、期限が切れていても更新扱となります。

紹介者がいらっしゃる場合はご記入ください。

下半分を切り取らずにFAXしてください。表と裏を確認してください。会員区分1・3以外の方は添付書類もFAXしてください。

オープンカレッジ会員の方は会員番号(8桁)を記入、新規の方は新規に○を付けてください。

急な連絡のために必要となりますので携帯電話をお持ちの方は併せてご記入ください。

保険の手続が必要なためご記入ください。

00 東京		払込取扱票		振替払込請求書兼受領証	
口座記号番号	金額	千	百	十	万
001605603401	¥50000	5	0	0	0
加入者名	料金	備考	口座記号番号	金額	千
國學院大學エクステンションセンター			001605	¥50000	5
※オープンカレッジ	会員番号	会員区分	加入者名	金額	千
新規 18XXXXXX	1.2.3.4.5.6.7		國學院大學エクステンションセンター	¥50000	5
〒150-XXXX	住所	東京都渋谷区XX町1丁目XX番地	おなまえ		
フリガナ	コナガタ	タロウ	ご依頼人		
氏名	國學	太郎			
TEL	03-XXXX-XXXX	(090-XXXX-XXXX)	料金		
生年月日	大正・昭和・平成	年 月 日	備考		

62円切手を貼って投函してください



### 個人情報保護シール

必要事項をお書きになりましたら、添付のシールをはがし、はがき宛名面の個人情報欄に貼ってください。 ※シールは1度貼ると貼り直しできません。



# 國學院大學 オープンカレッジ受講申込書 (FAX用)

受付	入力	入金	備考

希望講座名 \_\_\_\_\_ 申込日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

講座番号	講座名	受講料
		円
		円
		円
		円
		円

新規ご入会の方 ➡

今回更新の方 ➡

※入会金・更新料は、P27「会員区分一覧」でご確認ください

入会金	円
更新料	円
合計	円

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいいらっしゃる場合ご記入をお願いします

紹介者氏名		紹介者 会員番号								
-------	--	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

- このページを切り取り、添付書類と共に直接FAXしてください。 \*払込取扱票切取前にFAXしてください。FAXで申し込まれた方は、巻末のはがきを送る必要はありません。
- 受講申込書受理の連絡はいたしませんので、申し込み後直ちに受講料等をお振込ください。
- 申し込みの手順はP26, 27「申し込み方法」をご覧ください。

**FAX 03-5466-0528**

下半分を切り離す前にFAXしてください

00	東京	払込取扱票																	
口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円	
0	0	1	6	0	5	6	0	3	4	0	1								
加入者名	國學院大學エクステンションセンター										料金	備考							
	※ オープンカレッジ																		
	会員番号					会員区分													
	新規					1・2・3・4・5・6・7													
	〒																		
	住所																		
	フリガナ																		
	氏名																		
	TEL																		
	生年月日 大正・昭和・平成 年 月 日生																		
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第55517号)																			
これより下部には何も記入しないでください。																			

各票の※印欄はご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出しください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	6	0	5		
	6	0	3	4	0	1		
加入者名	國學院大學エクステンションセンター							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
	おなまえ							
	ご依頼人							
	様							
	日 附 印							
	料 金							
	(消費税込み) 円							
	備考							

この受領証は、大切に保管してください。

下を切り離さずFAXしてください。

表と裏の向き (送信面) は合っていますか？

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

# 國學院大學 オープンカレッジ受講申込書 (FAX用)

受付	入力	入金	備考

希望講座名 \_\_\_\_\_ 申込日： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

講座番号	講座名	受講料
		円
		円
		円
		円
		円

新規ご入会の方 ➡

今回更新の方 ➡

※入会金・更新料は、P27「会員区分一覧」でご確認ください

入会金	円
更新料	円
合計	円

●新規ご入会の方で、ご紹介者(オープンカレッジ現会員)がいらっしゃる場合ご記入をお願いします

紹介者氏名		紹介者 会員番号								
-------	--	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

- このページを切り取り、添付書類と共に直接FAXしてください。 \*払込取扱票切取前にFAXしてください。 FAXで申し込まれた方は、巻末のはがきを送る必要はありません。
- 受講申込書受理の連絡はいたしませんので、申し込み後直ちに受講料等をお振込ください。
- 申し込みの手順はP26, 27「申し込み方法」をご覧ください。

**FAX 03-5466-0528**

下半分を切り離す前にFAXしてください

00	東京	払込取扱票																
口座記号番号										金額	千	百	十	万	千	百	十	円
0	0	1	6	0	5	6	0	3	4	0	1							
加入者名 國學院大學エクステンションセンター										料金	備考							
※ オープンカレッジ																		
会員番号										会員区分								
新規										1・2・3・4・5・6・7								
〒																		
住所																		
フリガナ																		
氏名																		
TEL																		
生年月日										大正・昭和・平成 年 月 日生								
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号東第55517号)																		
これより下部には何も記入しないでください。																		

各票の※印欄はご依頼人において記載してください。

切り取らないでお出しください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	0	1	6	0	5		
加入者名	國學院大學エクステンションセンター							
金額	千	百	十	万	千	百	十	円
ご依頼人	おなまえ						様	
料金	(消費税込み)						日 附 印	
	円							
備考								

この受領証は、大切に保管してください。

下を切り離さずFAXしてください。

表と裏の向き (送信面) は合っていますか？

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになる場合は、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼様が負担することとなります。
- ・ご依頼様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。



## エクステンションセンター

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

T E L 03-5466-0270

F A X 03-5466-0528

U R L <http://www.kokugakuin.ac.jp>

e-mail [jjyou@kokugakuin.ac.jp](mailto:jjyou@kokugakuin.ac.jp)

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學